

# Panasonic

**DVCPRO P**

Digital Video Cassette Recorder

AJ-PD95DC

取扱説明書

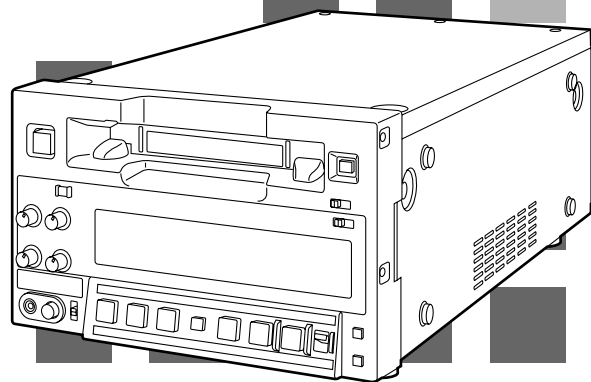
## 保証書別添付

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。

製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

著作権（録画テープの取り扱い）

あなたがビデオで録画したテープは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用はできません。



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

上手に使って、上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

# 目次

安全上のご注意	3	スーパーインポーズ画面	25
概要	8	セットアップ (初期設定)	27
特長	8	オンスクリーンメニューでの設定方法	27
各部の名称と機能	9	工場出荷時の設定値への戻し方	27
フロントパネル	9	ユーザーデフォルトの設定方法	28
コネクター部	13	ユーザーデフォルトのロード方法	29
接続例	15	メニュープロテクトの方法	29
テープについて	16	メニュープロテクトの解除方法	30
テープの種類と記録時間	16	DIAGメニューの表示方法	30
操作方法	17	セットアップメニュー	31
電源投入/カセット挿入	17	SYSTEMメニュー	31
STOPモード	17	BASICメニュー	33
記録	18	OPERATIONメニュー	34
一時停止/記録(つなぎ撮り)	18	INTERFACEメニュー	35
再生	19	TAPE PROTECTメニュー	36
早送り再生/巻き戻し再生	19	TIME CODEメニュー	37
静止画再生	19	VIDEOメニュー	39
リニア0.3倍速再生	20	AUDIOメニュー	40
可変速再生	20	エラーメッセージ	42
音声チャンネル	21	EMERGENCY イジェクト	43
タイムコード/ユーザービットについて	23	ビデオヘッドクリーニング	44
タイムコード	23	結露	44
ユーザービット	23	お手入れについて	44
タイムコードの設定	23	アフターサービス	45
ユーザービットの設定	24	定 格	46
タイムコード/ユーザービットの再生	24		

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 設置について



## 警告

コンセントや配線機器の定格を越える使い方や、交流100V以外での使用はしない！



禁止

たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

電源コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。  
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

コードに重いものを載せない！



禁止





本機の下敷きにならないよう注意してください。  
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

# 安全上のご注意

必ずお守りください









## 設置について

### 警告

<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない！</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>不安定な場所に置かない！</p> <p> 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>水場に設置しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>
<p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する！</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。</p>		

## 使用方法について

### 警告

<p>本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！</p> <p> 本機内部にはいると、故障や事故を起こすおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>表示された電源電圧以外は、使用しない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない！</p> <p>傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <p>●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。</p>
<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p> <p>禁止</p>	<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機を改造しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>
<p>水場で使用しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む！</p> <p> 感電の原因になります。</p>	

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 使用方法について

### 警告

本機の裏ぶた・キャビネット・カバーなどを外さない！



感電の原因となります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

指定のカバー以外は、外さない！



感電の原因となります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

## 異常時の処理について

### 警告

本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起すおそれがあります。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起すおそれがあります。

本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起すおそれがあります。

電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電を起すおそれがあります。

- お買い上げの販売店に、ご相談ください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## お手入れについて



## 警告

電源プラグのほこりなどは、定期的にとる！



プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

## 設置について



## 注意

電源コードを熱器具に近づけない！



コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。  
禁止

油煙や湯気が当たる場所に置かない！



火災・感電の原因となることがあります。  
禁止

コードやショルダーベルトを下にたらしさない！



ふれたり、引っかけたりすると、落ちてけがをするおそれがあります。  
禁止

湿気やほこりの多い場所に置かない！



火災・感電の原因となることがあります。  
禁止

ぬれた手でコネクターを抜き差ししない！



感電の原因となることがあります。  
禁止

動かないように固定する！



車に載せる場合、本機をしっかり固定しないと、事故につながる恐れがあります。

プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！



コードが傷つき、火災・感電の原因となります。  
禁止

- 必ずプラグを持って抜いてください。

コネクターを抜くときは、コードを引っ張らない！



コードが傷つき、火災・感電の原因となります。  
禁止

- 必ずコネクターを持って抜いてください。

本機の通風孔をふさがらない！



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。  
禁止  
次のような使い方は、しないでください。










- 本機を風通しの悪い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。

# 安全上のご注意

必ずお守りください



## 使用方法について

### ⚠ 注意

<p>本機の上に重い物を置かない！</p> <p> バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機に乗らない！</p> <p> 倒れたり、壊れたりし、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>カセットテープ挿入口に、手をはさまれないように注意する！</p> <p> けがの原因となります。</p> <p>指に注意</p>
<p>長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！</p> <p> 火災の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>専用 AC アダプター以外は、使用しない！</p> <p> 定格外の AC アダプターを使用すると、火災の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>運転中、運転者は操作や鑑賞をしない！</p> <p> 操作・鑑賞をする場合、必ず車を停止させて行ってください。</p> <p>禁止</p>	<p>雷が鳴り出したら、使うのをやめる！</p> <p> 落雷すると、感電死につながります。</p> <p>接触禁止</p>	<p>使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する！</p> <p> けがや死亡につながります。</p>

## お手入れについて

### ⚠ 注意

<p>お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源 (プラグ) を抜く！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったら、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。</p>	
--	--	--

# 概要

本機は、1/4 インチ幅の小型カセットテープを採用し、プログレッシブ信号 (525P) とインターレース信号 (525i/50Mbps) の記録・再生ができます。しかも、既存の DVCPRO (25 Mbps) の記録・再生も可能な、マルチパスのデジタル VTR です。デジタル圧縮技術を採用した高画質 VTR で、ダビング時の画質・音質の劣化が大幅に少なくなっています。また、本機は小型・軽量設計になっておりますので持

ち運びにも負担が軽く、ラックに設置するときにも楽に行えます。機器の各設定は、モニターテレビのオンスクリーンメニューを見ながら対話方式で行います。

# 特長

## 小型・軽量

本機のサイズは幅 214 mm、高さ 132 mm、奥行 430 mm、重量は 8.1 kg です。把手を装備しているため、持ち運びに便利です。

## 効率的なラックへの設置

本機の幅は、19 インチの 1/2 サイズ、高さは 3U サイズです。ラックへの設置が、従来機の 2 倍の効率で経済的です。

## 長時間の記録・再生

L カセット使用時には、4:2:0P モードと 50Mbps モードで 92 分、25Mbps モードで 184 分\* の最長記録・再生が行えます。

\* 25Mbps モードで 184 分記録されたテープは、DVCPRO (25M) 長時間テープ対応 VTR にてご使用ください。

## L カセット/M カセット対応

本機は、フロントローディングメカニズムを採用しています。DVCPRO/DVCPRO 50 フォーマットの L/M カセットの記録再生が可能です。

## AC/DC オペレーション

本機の電源は、AC 100V と DC 12V の両方に対応しています。

## つなぎ撮り機能

REC ボタンと PAUSE ボタンを組み合わせることで、オートバック機能が働き、乱れることなく、映像をつなぐことができます。

## 高画質

既存の DVCVRO インターレース方式と比較して、2 倍の記録レートを持った 4:2:0P プログレッシブ方式記録と 4:2:2 コンポーネント方式記録により、高画質を実現しています。

## オンスクリーンメニュー設定

きめ細かな機能設定を、オンスクリーンで行うことができます。

## 音声調整ボリューム装備

本機では、2 チャンネルの記録・再生用音量調整ができます。

## タイムコード

本機は TCG (タイムコードジェネレーター) / TCR (タイムコードリーダー) を内蔵しています。また、外部からのタイムコードを入力することができますので、外部タイムコードにリジェネすることが可能です。

## SDI インターフェース

本機は、4:2:2/4:2:0P シリアルデジタルインターフェースを標準装備しています

## 9 ピンリモートコントロール

9 ピンのリモートコントロール端子を装備していますので、外部リモートコントローラー (AJ-A95 : オプション) からの操作が可能です。

## エンコーダーリモコン

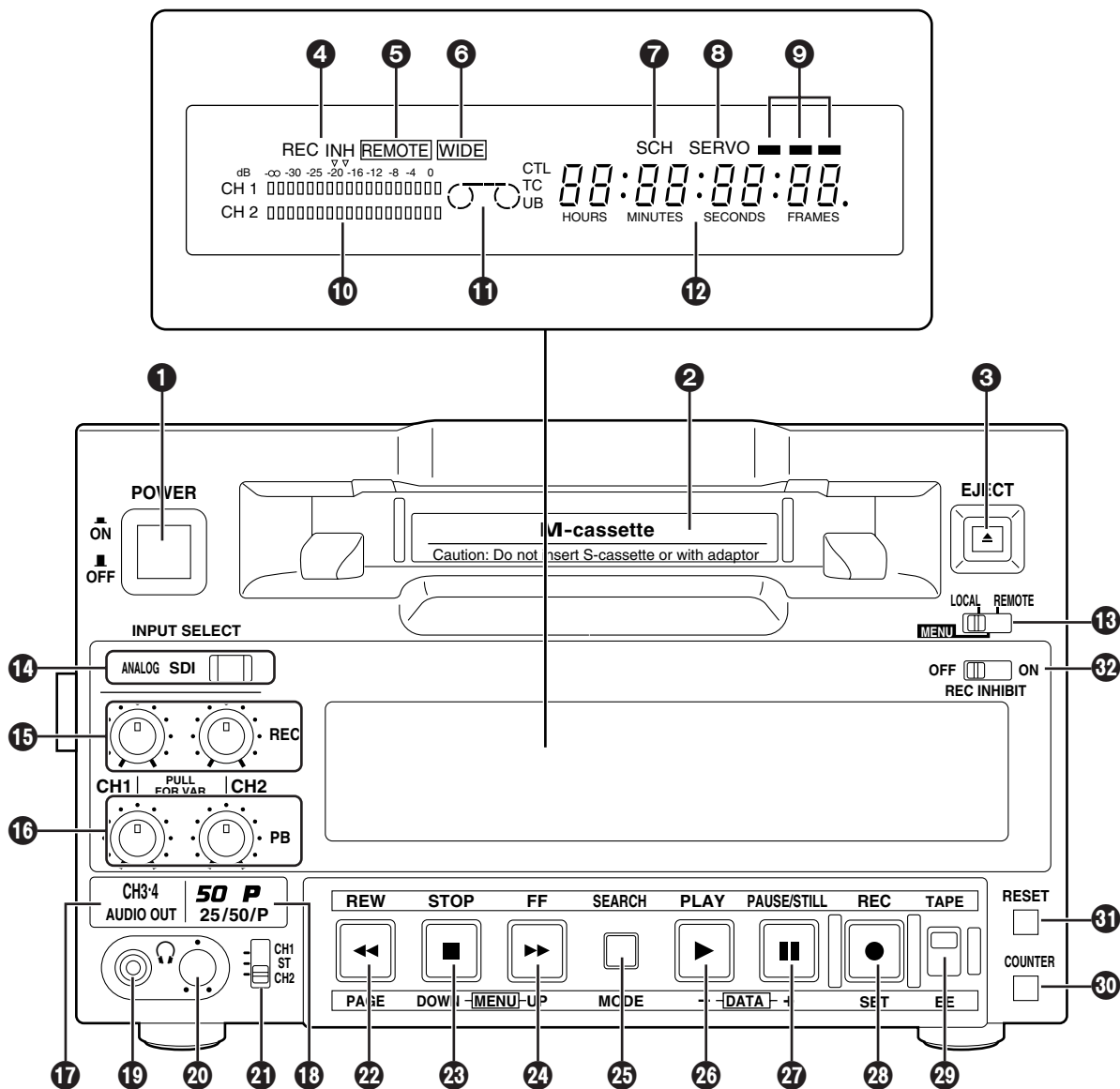
15 ピンのエンコーダーリモコン端子を装備していますので、外部エンコーダーリモートコントローラー (AU-Z2001 : オプション) からアナログ映像出力部の調整が可能です。



# 各部の名称と機能






## フロントパネル

カウンターディスプレイ部



# 各部の名称と機能

## フロントパネル

- ① POWER スイッチ  
押すと電源が入り、カウンター表示部が点灯します。再度押すと、電源が OFF になります。
- ② カセット挿入口  
取材カセットおよび、汎用カセットの挿入口です。  
< ノート >  
民生用 DV カセットは、挿入しないでください。
- ③ EJECT ボタン  
押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。  
カウンター表示部が CTL 表示のときは、表示がリセットされます。
- ④ REC/REC INH ランプ  
REC : 録画中に点灯します。  
REC INH : カセット誤消去防止状態になっているときに点灯します。  
また、REC INHIBIT スイッチ ⑫ が ON のときに点灯します。  
このとき、記録はできません。
- ⑤ REMOTE ランプ  
LOCAL/MENU/REMOTE スイッチ ⑬ で、REMOTE を選択したときに点灯します。
- ⑥ WIDE ランプ  
WIDE モードのときに点灯します。
- ⑦ SCH ランプ  
外部同期信号のサブキャリア位相が、一定の範囲内にあるときに点灯します。
- ⑧ SERVO ランプ  
ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがロックすると、点灯します。
- ⑨ チャンネルコンディション・ランプ  
エラーレートの状態に応じて、点灯します。  
(緑 青 赤)  
緑 : ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好なときに点灯します。  
青 : ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化したときに点灯します。このランプが点灯しても、再生画は正常です。  
赤 : ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に、修正/補間がかかったときに点灯します。
- ⑩ レベルメーター  
オーディオ信号の各レベルを表示します。  
オーディオ信号は、記録時および E-E 選択時には入力信号のレベルを、再生時には出力信号の各レベルを表示します。
- ⑪ カセット挿入/テープ走行表示ランプ  
本機にカセットが挿入されているときに、このランプが点灯します。  
 : テープ挿入・STANDBY ON 時  
 : テープ挿入・STANDBY OFF (HALF LOADING) 時  
 : テープ走行時、セグメント表示がテープ走行に合わせて移動します。  
 : ファンが停止したとき、停止した側の  が点滅します。
- ⑫ カウンター表示部  
TC、CTL のカウント値や、オンスクリーン情報等の各種メッセージを表示します。  
DC 電源使用時は、電圧が低下した場合に、ワーニングとして点滅します。  
約 10.6 V まで低下すると、自動的に電源が OFF になります。
- ⑬ LOCAL/MENU/REMOTE スイッチ  
メニュー設定もしくは、外部から本機をコントロールするときに切り替えます。  
LOCAL : 本機の操作パネルで本機をコントロールするとき。  
MENU : オンスクリーンメニューを設定するとき。  
REMOTE : 外部リモートコントローラー (AJ-A95) で本機をコントロールするとき。

# 各部の名称と機能

## 14 INPUT SELECT ボタンとランプ

入力信号の切り替えを行います。  
ボタンを押すごとに、ANALOG と SDI が交互に切り替わります。

ANALOG : アナログ信号を入力するときに選択します。選択すると、ANALOG ランプが点灯します。

選択していて、アナログコンポジットビデオ信号入力が無いときは、ANALOG ランプが点滅します。

SDI : SDI 信号を入力するときに選択します。選択すると、SDI ランプが点灯します。選択していて、SDI 信号入力が無いときは、SDI ランプが点滅します。

< ノート >

- オーディオ信号の入力は、セットアップメニュー No. 715 の設定により切り替えができます。
- セットアップメニュー No. 007 を 420P フォーマットに設定した場合、ビデオ信号の入力は、SDI 信号が選択されます。

## 15 オーディオ信号記録レベルの調整ボリューム

オーディオ信号 CH1/CH2 の記録レベルを調整します。

PULL FOR VARIABLE 方式で、つまみを引き上げた位置のときに調整できます。つまみを押し下げた位置の場合は、信号レベルが初期値になります。

## 16 オーディオ信号再生レベルの調整ボリューム

オーディオ信号 CH1/CH2 の再生レベルを調整します。

PULL FOR VARIABLE 方式で、つまみを引き上げた位置のときに調整できます。つまみを押し下げた位置の場合は、信号レベルが初期値になります。

< ノート >

CUE オーディオのレベルは調整できません。

## 17 CH3/CH4 ランプ

4:2:0P モードと 50 Mbps モードのときに、セットアップメニュー No. 711 で TR3/4 を選択したときに点灯します。

また、SDI 入力を選択して、セットアップメニュー No. 712 で CH3/4 を選択したとき、E-E 時に点灯します。(再生中は、No. 711 の設定により点灯します。) (41 ページ参照)

## 18 50 Mbps/プログレッシブランブ

50 : 50Mbps モードのときに点灯します。

P : 4:2:0P モードのときに点灯します。

## 19 ヘッドホンジャック

ステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生の音声を、ヘッドホンでモニターできます。

## 20 音量調整ボリューム

ヘッドホンの音量を調整するボリュームです。

## 21 ヘッドホン出力切り替えスイッチ

ヘッドホン出力のチャンネルを選択します。

CH1 : Lch/Rch 両方とも CH1 の音声出力が出力されます。

ST : セットアップメニュー No. 709 で選択した音声出力が出力されます。

CH2 : Lch/Rch 両方とも CH2 の音声出力が出力されます。

## 22 REW ボタン

押すと、テープを巻き戻します。TAPE/EE スイッチ 29 が「TAPE」のときには、再生画をモニターすることができます。

サーチモード (サーチスチル/FWD サーチ/FWD サーチスチル/REV サーチスチル) 中に押すと、REV サーチになり、セットアップメニュー No. 100 で設定したスピードで巻き戻し再生します。(19 ページ、34 ページ参照)

スローモード (スロースチル/FWD スロー/FWD スロースチル) 中に押すと、REV リニア 0.3 倍速再生になります。(20 ページ参照)

リニア 0.3 倍速再生は、ノイズが現れますが異常ではありません。

## 23 STOP ボタン

押すと、テープ走行が停止し、TAPE/EE スイッチ 29 が「TAPE」のときには、静止画をモニターすることができます。

ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。

ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイ OFF (ハーフローディング) モードになります。

本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。

# 各部の名称と機能

## 24 FF ボタン

押すと、テープを早送りします。TAPE/EE スイッチ 29 が「TAPE」のときには、再生画をモニターすることができます。

サーチモード (サーチスチル/REV サーチ/REV サーチスチル/FWD サーチスチル) 中に押すと、FWD サーチになり、セットアップメニュー No. 100 で設定したスピードで早送り再生します。(19 ページ、34 ページ参照)

スローモード (スロースチル/REV スロー/REV スロースチル) 中に押すと、FWD リニア 0.3 倍速再生になります。(20 ページ参照)

リニア 0.3 倍速再生は、ノイズが現れますが異常ではありません。

## 25 SEARCH ボタン

押すと、サーチモードあるいは、スローモードになります。(19、20 ページ参照)

## 26 PLAY ボタン

押すと、再生が始まります。

REC ボタンと同時に押すと、記録が始まります。

## 27 PAUSE/STILL ボタン

記録中に押すと、一時停止します。再度押すと、記録を再開します。

再生中に押すと、静止画になります。再度押すと、再生を再開します。

FWD/REV サーチ中に押すと、一時停止 (FWD/REV サーチスチル) します。再度押すと、FWD/REV サーチを再開します。

FWD/REV スロー中に押すと、一時停止 (FWD/REV スロースチル) します。再度押すと、FWD/REV スローを再開します。

FWD/REV スローは、リニア 0.3 倍速再生です。静止画および、リニア 0.3 倍速再生画には、ノイズが現れますが異常ではありません。

(20 ページ参照)

## 28 REC ボタン

PLAY ボタンと同時に押すと、記録が始まります。STOP 中や EJECT 中に REC ボタンを押すと、TAPE/EE スイッチが TAPE に設定されていても、入力ビデオ信号やオーディオ信号を確認することができます。

また、タイムコードジェネレーターの値を確認することができます。(REC CHECK モード)

STOP ボタンなど、他の操作ボタンを押すと、REC CHECK モードが解除されます。

## 29 TAPE/EE スイッチ

STOP・FF・REW 中に出力される信号を選択します。

TAPE : テープから再生される信号を出力します。

EE : INPUT SELECT ボタンで選択された入力信号を出力します。

< ノート >

- セットアップメニュー No. 105 を REC に設定しているとき、スイッチの位置にかかわらず、STOP 時は E-E モードになります。(34 ページ参照)
- 切り替え時に画像と音声がかかることがあります。

## 30 COUNTER ボタン

カウンター表示部の切り替えを行います。

押すごとに「CTL TC UB r CTL...」と切り替わります。

CTL : テープタイマー (コントロール信号) を表示します。

TC : タイムコードを表示します。

UB : ユーザービットを表示します。

r : テープ残量を分単位で表示します。

(例) [r102] : 102 分のテープ残量があります。

## 31 RESET ボタン

CTL モード時に押すと、カウンターの表示が 00:00:00:00 になります。

## 32 REC INHBIT ボタン

カセットテープへの記録禁止と許可を選択します

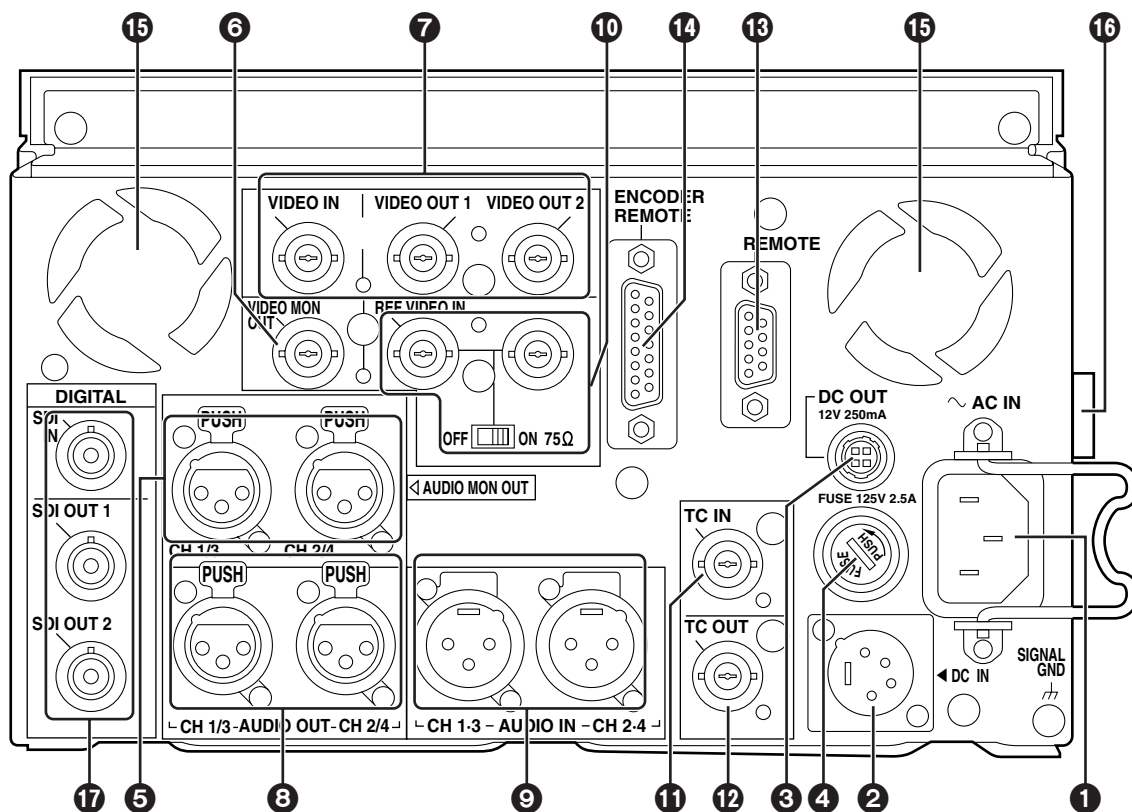
ON : カセットテープへの記録を禁止します。

ディスプレイの REC INHIBIT ランプが点灯します。

OFF : カセットテープの誤消去防止機構が記録可能なときに、カセットテープへの記録が可能です。

# 各部の名称と機能

## コネクター部

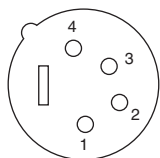


### ① AC IN コネクター

AC電源のインレットです。  
 付属の電源コードを接続します。  
 AC100V (± 10%) で使用してください。  
 電圧が極端に低下した場合、本機の電源は自動的にOFFになります。再度、電源電圧が回復しても、復帰に数分かかります。この場合、POWERスイッチをOFFにして、数分後、再起動してください。  
 AC電源とDC電源の両方が接続されている場合、AC電源が優先されます。

### ② DC IN 端子

DC 12 V 電源の入力端子です。



ピン No.	信号内容
1	Ground
2	
3	
4	+ 12 V

### ③ DC OUT 端子

DC 12 V の出力端子です。  
 外部リモートコントローラー (AJ-A95) に電源を供給します。  
 DC電源ケーブルは、AJ-A95 に同梱されています。



ピン No.	信号内容
1	Ground
2	
3	
4	+ 12 V

### ④ ヒューズホルダー

2.5 A のヒューズが入っています。

### ⑤ AUDIO MON OUT (CH 1/3, CH 2/4) 端子

オーディオモニター信号の出力端子です。

# 各部の名称と機能

## コネクタ部

### ⑥ VIDEO MONITOR OUT 端子

映像モニター信号の出力端子です。(インターレースフォーマット)  
スーパーインポーズしたビデオ信号の出力ができます。  
スーパーインポーズは、セットアップメニュー No. 002 で ON/OFF の切り替えが可能です。  
(33 ページ参照)

### ⑦ VIDEO IN/OUT 端子

アナログコンポジットビデオ信号の入力端子と出力端子です。(インターレースフォーマット)

### ⑧ AUDIO OUT (CH1/3, CH2/4) 端子

アナログオーディオ信号の出力端子です。

### ⑨ AUDIO IN (CH1・3, CH2・4) 端子

アナログオーディオ信号の入力端子です。

### ⑩ REF VIDEO IN 端子と 75 Ω 終端スイッチ

リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。  
RS-170A に準拠したコンポジットビデオ信号、または、ブラックバースト信号を入力してください。  
終端する場合には、スイッチを「ON」にします。

### ⑪ TC IN 端子

外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。

### ⑫ TC OUT 端子

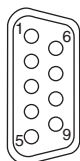
再生時は、再生タイムコードを出力します。  
記録時は、内部タイムコード・ジェネレーターの発生するタイムコードを出力します。

### ⑬ REMOTE CONTROL 端子

外部リモートコントローラー (AJ-A95 : オプション) を接続して、外部から本機を操作することができます。

< ノート >

- LOCAL/MENU/REMOTE スイッチは、REMOTE の位置にしてください。
- RS-422A インターフェース準拠ですが、編集関係の機能は動作しません。



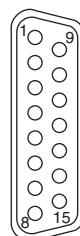
ピン No.	信号内容
1	Frame Ground
2	Transmit A
3	Receive B
4	Receive Common
5	
6	Transmit Common
7	Transmit B
8	Receive A
9	Frame Ground

### ⑭ ENCODER REMOTE 端子

ビデオ出力信号の各設定を外部から調整するとき、外部エンコーダーリモートコントローラー (AU-Z2001 : オプション) を接続します。

< ノート >

セットアップメニュー No. 00 を REMOTE に設定してください。(31 ページ参照)



ピン No.	信号内容
1	
2	Set Up
3	C Level
4	Ground
5	+ 9 V
6	System H
7	SYS. SC. Coarse (2)
8	- 9 V
9	Hue
10	Video Level
11	Ret Ground
12	
13	
14	SYS. SC. Fine
15	SYS. SC. Coarse (1)

### ⑮ ファンモーター

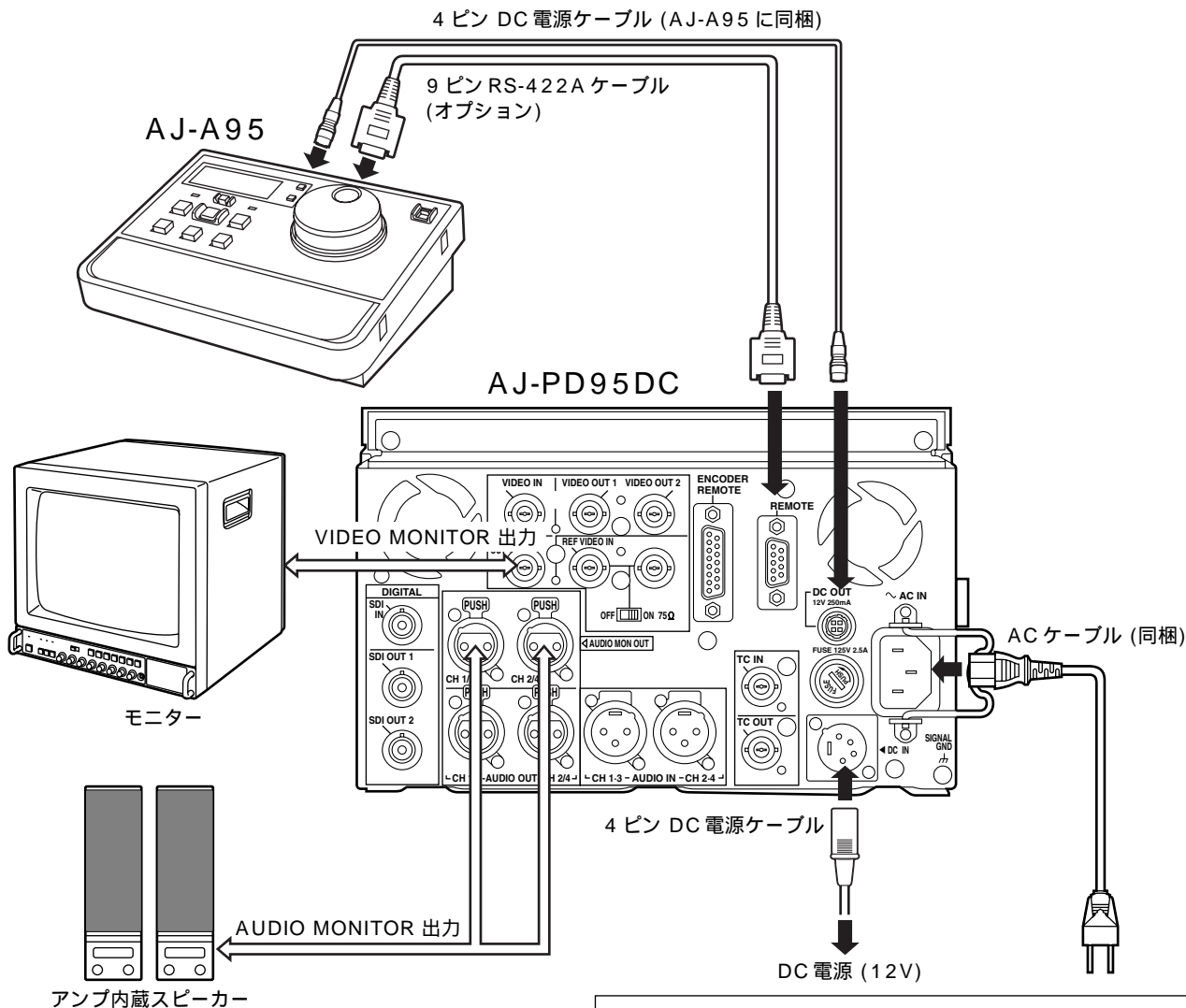
本機の冷却用のファンモーターです。

### ⑯ 把手

把手は側面に付いていますが、本機を動作させるときは、本機を水平に設置してください。

### ⑰ DIGITAL (SDI IN, SDI OUT1, SDI OUT2) 端子

SDI コンポーネント (オーディオ/ビデオ) 信号の入出力端子です。  
(SMPTE259M-C/272M/294M 規格に準拠)



電源は、AC100Vまたは、DC IN 端子 (12V) から供給できます。

< ノート >

- AC 電源と DC 電源の両方が接続されている場合、AC 電源が優先されます。
- DC IN 端子より供給される電圧が、約 10.6V まで低下した場合、本機の電源は自動的に OFF になります。再度、電源電圧が回復しても、復帰に時間がかかることがあります。

## ビデオ入力信号とリファレンスビデオ入力信号について

VIDEO IN 端子と REF VIDEO IN 端子へ、同時に信号を入力する場合、それぞれの信号は同期のとれた信号にしてください。

同期がとれていない場合、「E-E 画面がダンシングする。」、「タイムコード表示の歩進が遅くなる。」、「操作の応答が遅くなる。」等の現象が発生します。(ただし、記録は正常に行います。)

この場合、セットアップメニュー No. 600 を「VF」に設定することにより、画面表示を正常にすることができます。(39 ページ参照)

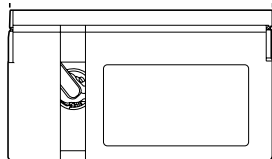
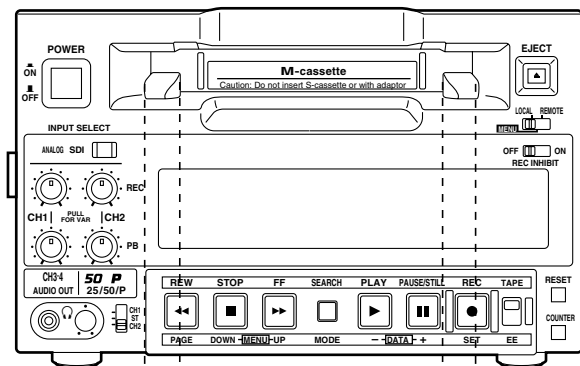
# テープについて

## < ご注意 >

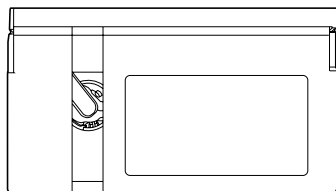
民生用 DV テープ **DV/Mini DV** は使用できません。挿入しないでください。

挿入口のセンターにカセットをあわせ、軽く押ししてください。

カセットテープは、自動的にローディングされます。



M カセット



L カセット

## テープの種類と記録時間

### M カセット

- 4:2:0P/50 Mbps モード  
最大 33 分の記録・再生テープ

AJ-5P23MP、AJ-5P33MP

- 25 Mbps モード  
最大 66 分の記録・再生テープ

AJ-P12MP、AJ-P24MP、AJ-P33MP、  
AJ-P46MP、AJ-P66MP

### L カセット

- 4:2:0P/50 Mbps モード  
最大 92 分の記録・再生テープ

AJ-5P63LP、AJ-5P92LP

- 25 Mbps モード  
最大 184 分の記録・再生テープ

AJ-P34LP、AJ-P66LP、AJ-P94LP、  
AJ-P126LP、AJ-P184LP \*

\* AJ-P184LP にて、DVCPRO (25M モード) で記録されたテープは、DVCPRO (25M) 長時間テープ対応 VTR にてご使用ください。



# 操作方法

## 電源投入/カセット挿入

操作を始める前に、機器の接続が正しいかを確認してください。

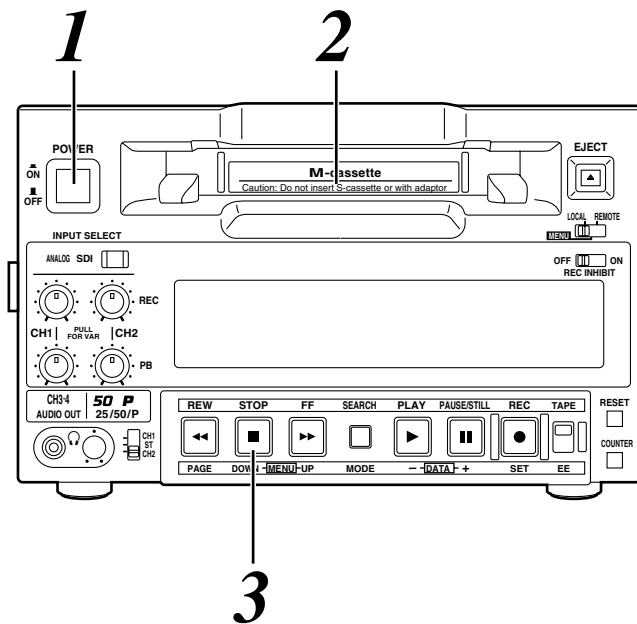
また、本機は必ず水平に設置して操作を行ってください。

**1** 電源を入れます。

**2** カセットテープを挿入します。

カセットテープは、無理なく正規の位置に挿入してください。

**3** STOPランプが点灯していることを確認します。  
テープを挿入すると、自動的にシリンダーが回転し、テープがローディングされ、STOPモードになります。



## STOPモード

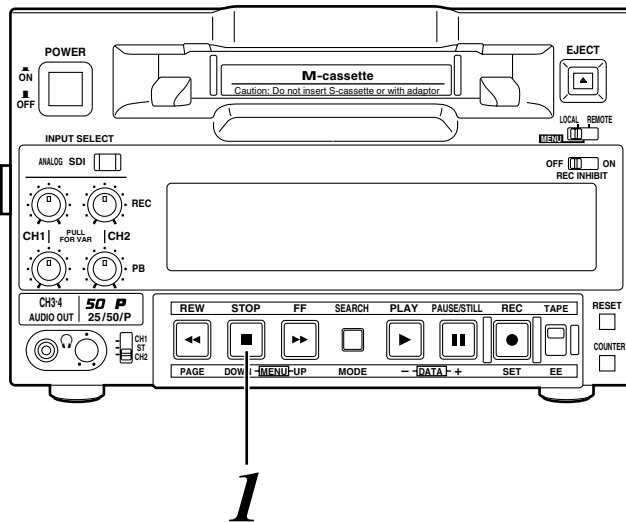
**1** STOPボタンを押すと、STOPモードになります  
STOPランプが点灯し、テープ走行が停止します。

●テープ保護のため、セットアップメニュー No. 400「STILL TIMER」で設定した時間が経過すると、テープ保護モードになります。(36ページ参照)

STOP・REW・FF・PLAYの各ボタンを押すと、それぞれのモードになります。

<STILL TIMER 設定のご注意>

●繰り返し、同じテープの同じ箇所を使用するときなどには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。テープ保護のため、同一箇所での待機時間は、できる限り短くご使用ください。



<ノート>

セットアップメニュー No. 104 が ON に設定されている場合、リファレンスビデオ入力がないと STOP ボタンが点滅します。(34ページ参照)

# 操作方法

## 記録

**1** セットアップメニュー No. 007 の設定で、記録するモード (4:2:2「50Mbps」、4:1:1「25Mbps」、4:2:0P) を選択します。  
(33 ページ参照)

**2** カセットテープの誤消去防止用ツメを「記録」側にし、テープを挿入します。

**3** STOP ボタンを押して、本機を STOP モードにします。

**4** 1. 入力ビデオ/オーディオ信号の選択  
1) 記録する信号を接続します。  
2) フロントパネルの INPUT SELECT ボタンとセットアップメニュー No. 715 の設定で、ビデオとオーディオの入力信号を選択します。  
2. オーディオレベル調整  
● オーディオ入力信号レベルを調整します。  
オーディオ信号は、オーディオ記録レベルの調整ボリュームを押し込んだ状態で、適正なレベルで記録されます。

**5** REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押します。  
REC と PLAY ランプが点灯し、記録が始まります。  
セットアップメニュー No. 110「AUTO BACK」が「ALL」のとき、REC ボタンと PLAY ボタンを押した位置より 2 ~ 3 秒テープが巻き戻された後、助走を行い、REC ボタンと PLAY ボタンを押した位置から記録を開始しますので、乱れなく映像をつなぎ撮りすることができます。  
(35 ページ参照)

**6** 記録を終了するときは、STOP ボタンを押します。  
記録が終了し、停止モードになります。

< ノート >

- 入力信号に記録防止信号が記録されているものは、正しく記録できません。
- 記録中は、SERVO ランプが点灯していることを確認します。ランプが点滅または消えているときは、再生した画像は乱れます。

- セットアップメニュー No. 105 が「PB」に設定されているとき、REC/PLAY ボタンを押してから記録を開始するまで 2 ~ 3 秒かかります。  
(34 ページ参照)  
より素早く記録を開始する場合は、「REC」に設定してください。ただし、「REC」に設定した場合は、再生時に PLAY ボタンを押してから画像が出るまでの時間が遅くなります。

## 一時停止/記録(つなぎ撮り)

**1** カセットテープを再生中に、PAUSE/STILL ボタンを押します。

**2** REC ボタンを押し、REC PAUSE モードにします。  
このとき、E-E 画面にモニター表示が切り替わります。  
セットアップメニュー No.110「AUTO BACK」が「REC-P」または「ALL」のとき、PAUSE/STILL ボタンを押した位置より、2 ~ 3 秒テープが巻き戻されます。(35 ページ参照)

**3** PAUSE/STILL ボタンを押し、記録を始めます。  
**1** で PAUSE/STILL ボタンを押した位置までテープが走行し、記録を開始します。  
< ノート >  
● このとき、E-E 画面が表示されます。  
● 4:2:2 (50Mbps)、4:1:1 (25Mbps)、4:2:0P の各モード間のつなぎ撮りはできません。

**4** 再度 PAUSE/STILL ボタンを押し、記録を一時停止します。  
セットアップメニュー No. 110「AUTO BACK」が「REC-P」または「ALL」のときは、PAUSE/STILL ボタンを押した位置より 2 ~ 3 秒テープが巻き戻されてから、一時停止します。

**5** **3** と **4** を繰り返すことにより、つなぎ撮りを行うことができます。

# 操作方法

## 再生

**1** カセットテープを挿入します。

**2** PLAY ボタンを押します。  
通常の再生が開始されます。

**3** 再生を終了するときは、STOP ボタンを押します。  
VTR は、STOP モードになります。

< ノート >

- 再生中は、SERVO ランプが点灯していることを確認してください。消灯もしくは点滅していると、再生画像が乱れます。
- セットアップメニュー No. 007 の設定で、テープの記録モード (4:2:2 「50Mbps」、4:1:1 「25Mbps」、4:2:0P) に合わせて、再生モードを選択してください。  
また、セットアップメニュー No. 008 の設定を AUTO にすることにより、自動判別/自動切り替えを行うことができます。(33 ページ参照)  
ただし、判別には多少の時間がかかることがあります。
- 再生の立ち上がり時は、画像が乱れることがあります。

## 早送り再生/巻き戻し再生

サーチモード (サーチスチル/FWD サーチ/REV サーチ/FWD サーチスチル/REV サーチスチル) 中に FF ボタンまたは REW ボタンを押すと、セットアップメニュー No. 100 で設定したスピードで、早送り再生または巻き戻し再生します。(34 ページ参照)

また、FF モード中または REW モード中に SEARCH ボタンを押すと、セットアップメニュー No. 100 で設定したスピードまで減速し、早送り再生または巻き戻し再生します。

早送り再生中または巻き戻し再生中に PAUSE/STILL ボタンを押すと、一時停止します。再度押すと、早送り再生または巻き戻し再生を再開します。

VTR の動作状態	操作するボタン	VTR 動作の移行
PLAY または STOP	SEARCH	サーチスチル
	FF または REW	FF または REW
FF	PLAY または STOP	PLAY または STOP
	SEARCH	FWD サーチ (早送り再生)
REW	PLAY または STOP	PLAY または STOP
	SEARCH	REV サーチ (巻き戻し再生)
サーチスチル	PLAY または STOP	PLAY または STOP
	FF	FWD サーチ (早送り再生)
	REW	REV サーチ (巻き戻し再生)
FWD サーチ (早送り再生)	SEARCH	FF
	REW	REV サーチ (巻き戻し再生)
	PAUSE/STILL	FWD サーチスチル
REV サーチ (巻き戻し再生)	SEARCH	REW
	FF	FWD サーチ (早送り再生)
	PAUSE/STILL	REV サーチスチル
FWD サーチスチル	PAUSE/STILL または SEARCH または FF	FWD サーチ (早送り再生)
	REW	REV サーチ (巻き戻し再生)
REV サーチスチル	PAUSE/STILL または SEARCH または REW	REV サーチ (巻き戻し再生)
	FF	FWD サーチ (早送り再生)
任意の状態	PLAY	PLAY
	STOP	STOP

## 静止画再生

再生中に PAUSE/STILL ボタンを押します。  
もう一度 PAUSE/STILL ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

< ノート >

- 静止画再生中には、音声は聞こえません。
- 静止画には、ノイズが現れることがあります。

# 操作方法

## リニア 0.3 倍速再生

静止画再生 (PLAY PAUSE) 中に SEARCH ボタンを押すと、スロースチルモードになります。

この状態で、FF ボタンまたは REW ボタンを押すと、リニア 0.3 倍速再生をします。

リニア 0.3 倍速再生中に PAUSE/STILL ボタンを押すと、一時停止します。

再度 PAUSE/STILL ボタンを押すと、リニア 0.3 倍速再生を再開します。

< ノート >

リニア 0.3 倍速再生中は、ノイズが現れます。

## 可変速再生 (AJ-A95 接続時)

REMOTE 端子に AJ-A95 (オプション) を接続すると、AJ-A95 のサーチダイヤル操作により、可変速再生することができます。

< ノート >

- 1 倍速以外の再生速度では、画面にノイズが現れません。
- 可変速再生時は、アナログ CUE トラックに記録されている音声を再生します。

VTRの動作状態	操作するボタン	VTR 動作の移行
PLAY	PAUSE/STILL	PLAY PAUSE
PLAY PAUSE	PAUSE/STILL または PLAY	PLAY
	SEARCH	スロースチル
スロースチル	PLAY	PLAY
	FF	FWD スロー
	REW	REV スロー
FWD スロー	REW	REV スロー
	SEARCH または PAUSE/STILL	FWD スロースチル
REV スロー	FF	FWD スロー
	SEARCH または PAUSE/STILL	REV スロースチル
FWD スロースチル	PAUSE/STILL または SEARCH または FF	FWD スロー
	REW	REV スロー
REV スロースチル	PAUSE/STILL または SEARCH または REW	REV スロー
	FF	FWD スロー
任意の状態	PLAY	PLAY
	STOP	STOP
任意の状態	STOP FF	FF
	STOP REW	REW

# 操作方法

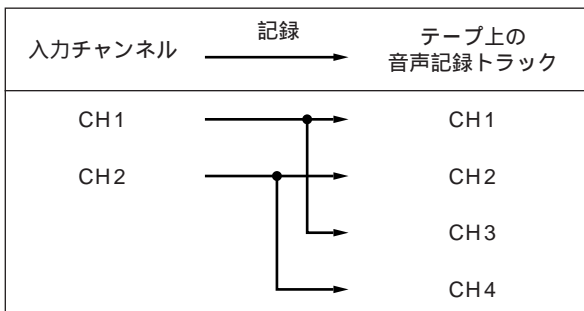
## 音声チャンネル

DVCPRO (25Mbps) フォーマットには、2ch の音声チャンネルが有り、DVCPRO P (4:2:0P) フォーマットと DVCPRO 50 (50Mbps) フォーマットには、4ch があります。

本機では、DVCPRO P (4:2:0P) フォーマットと DVCPRO 50 (50Mbps) フォーマットの 2ch のみを使用します。

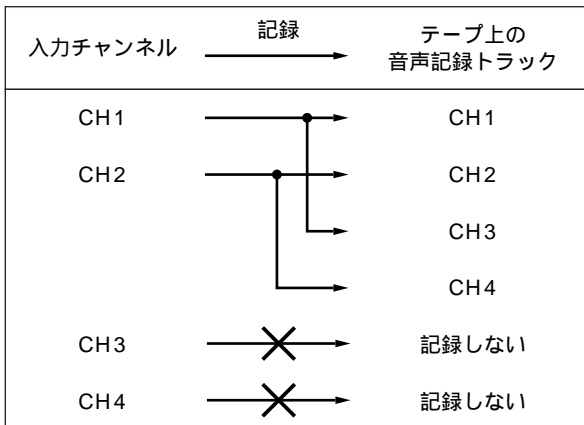
### < 記録時 > 4:2:0P/50Mbps モード

#### ■ アナログ信号入力

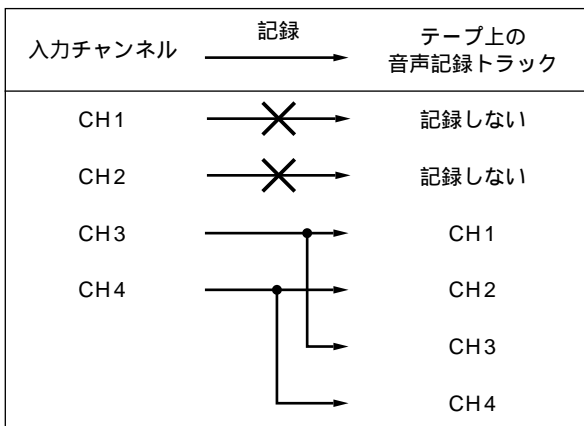


#### ■ シリアルデジタル多重信号入力 (SDI)

(セットアップメニュー No. 712 の設定 : CH1/2)



(セットアップメニュー No. 712 の設定 : CH3/4)

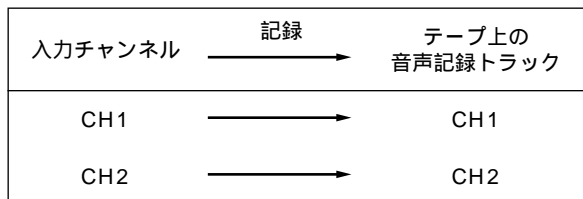


50Mbps/25Mbps/4:2:0P での記録・再生は、セットアップメニュー No. 711/712 の設定により行います。

(41 ページ参照)

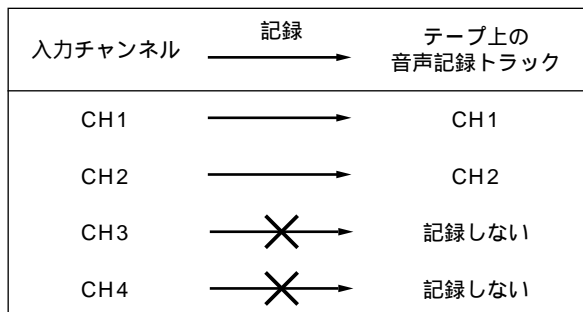
### < 記録時 > 25Mbps モード

#### ■ アナログ信号入力

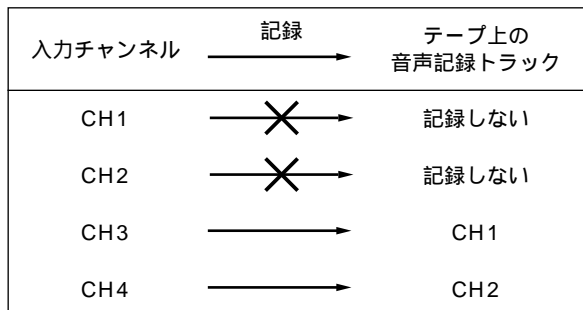


#### ■ シリアルデジタル多重信号入力 (SDI)

(セットアップメニュー No. 712 の設定 : CH1/2)



(セットアップメニュー No. 712 の設定 : CH3/4)



# 操作方法

## < 再生時 > 4:2:0P/50Mbps モード

### ■ アナログ信号出力

(セットアップメニュー No. 711 の設定：TR1/2)

テープ上の 音声記録トラック	再生	出力チャンネル
CH1	→	CH1
CH2	→	CH2
CH3	→ X	再生しない
CH4	→ X	再生しない

(セットアップメニュー No. 711 の設定：TR3/4)

テープ上の 音声記録トラック	再生	出力チャンネル
CH1	→ X	再生しない
CH2	→ X	再生しない
CH3	→	CH1
CH4	→	CH2

### ■ シリアルデジタル多重信号出力 (SDI)

(セットアップメニュー No. 711 の設定：TR1/2)

テープ上の 音声記録トラック	再生	出力チャンネル
CH1	→	CH1
CH2	→	CH2
CH3	→ X	再生しない
CH4	→ X	再生しない

(セットアップメニュー No. 711 の設定：TR3/4)

テープ上の 音声記録トラック	再生	出力チャンネル
CH1	→ X	再生しない
CH2	→ X	再生しない
CH3	→	CH1
CH4	→	CH2

## < 再生時 > 25Mbps モード

### ■ アナログ信号出力

テープ上の 音声記録トラック	再生	出力チャンネル
CH1	→	CH1
CH2	→	CH2

### ■ シリアルデジタル多重信号出力 (SDI)

テープ上の 音声記録トラック	再生	出力チャンネル
CH1	→	CH1
CH2	→	CH2
		CH3
		CH4

# タイムコード/ユーザービットについて

## タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーター (タイムコード信号発生器) によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー (タイムコード信号読取器) でその値を読み取り、テープの絶対位置を時:分:秒:フレームの単位で表示するときに表示します。

タイムコードは、ヘリカルトラックのサブコード領域 (データ領域) へ書き込まれます。

このためにVTRの再生速度が、停止モード スロー再生 高速再生まで読み取ることができます。

タイムコード値は、ディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00:07:04:24

時 分 秒 フレーム

## ユーザービット

ユーザービットは、タイムコード信号のうちユーザーに開放された32ビット (8桁) の情報枠のことで、オペレーターナンバーなどを記録することができます。

ユーザービットに使用できる数字 (文字) は、0 ~ 9 と A B C D E F です。

## タイムコードの設定

- 1 VTRをメニューモードにします。  
(LOCAL/MENU/REMOTEスイッチをMENUの位置にします。)
- 2 セットアップメニューNo.505「TC PRESET」を選択します。(37ページ参照)
- 3 DATA + ボタン (PAUSE/STILL ボタン) または、DATA - ボタン (PLAY ボタン) を押すと、1桁目の値が点滅します。
- 4 MENU UP ボタン (FF ボタン) または、MENU DOWN ボタン (STOP ボタン) を押すと、変更する桁が移動し点滅します。
- 5 DATA + ボタン (PAUSE/STILL ボタン) または、DATA - ボタン (PLAY ボタン) で値を変更します。
- 6 設定終了後は、SET ボタン (REC ボタン) を押します。  
(通常メニュー画面に戻ります。)
- 7 LOCAL/MENU/REMOTEスイッチをLOCALまたは、REMOTEの位置にします。

< ノート >

- 初期値は、現在のタイムコード値が表示されます。
- 「TC PRESET」設定時にRESETボタンを押すと、00:00:00:00にリセットされます。
- セットアップメニューNo. 504「TC MODE」を「P-REC」または、「P-FREE」に設定していないと設定できません。(37ページ参照)
- 設定終了後、SETボタンを押さずにMODEボタン (SEARCHボタン) を押すと、タイムコードの設定値はキャンセルされて、通常メニュー画面に戻ります。

# タイムコード/ユーザービットについて

## ユーザービットの設定

**1** VTR をメニューモードにします。  
(LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU  
の位置にします。)

**2** セットアップメニュー No.506 「UB PRESET」  
を選択します。(37 ページ参照)

以下、タイムコードの設定方法と同じです。

## タイムコード/ユーザービットの再生

**1** STOP モードにします。

**2** COUNTER ボタンで、「TC」または「UB」に  
します。

TC : タイムコードが表示されます。

UB : ユーザービットが表示されます。

- タイムコードが読み取れなくなった場合は、CTL で補間します。

**3** PLAY ボタンを押します。  
再生が開始され、タイムコードがディスプレイ  
に表示されます。  
セットアップメニュー No. 002 が「ON」に設  
定されている場合、MONITOR OUT 端子からの  
映像信号に、タイムコード値がスーパーインポ  
ーズされます。(33 ページ参照)

< ノート >

- ドロップフレームタイムコードを読んでいるとき  
は、秒とフレームの間のコロンの位置がピリオドに変わ  
ります。
- タイムコード信号が欠如したときには、CTL 信号  
で自動的に補います。  
ディスプレイは、以下ようになります。

T \* R    00 : 07 : 04 : 24

ドロップフレームのときは、秒とフレームの間の  
コロンの位置が「.」になります。

タイムコード信号が欠如したとき、

\* 表示になります。

(スーパーインポーズのみ)

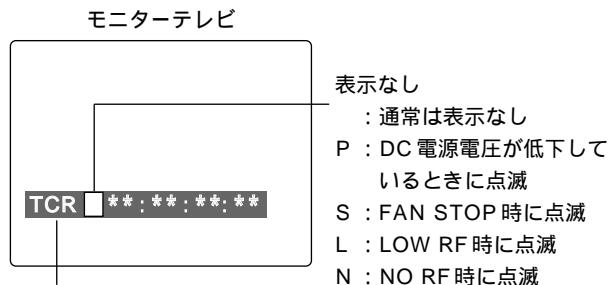


# スーパーインポーズ画面

モニターテレビと MONITOR OUT 端子を接続している場合は、モニターテレビにコントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。

また、セットアップメニュー No. 002 の設定で、表示を ON/OFF する切り替えができます。

(33 ページ参照)

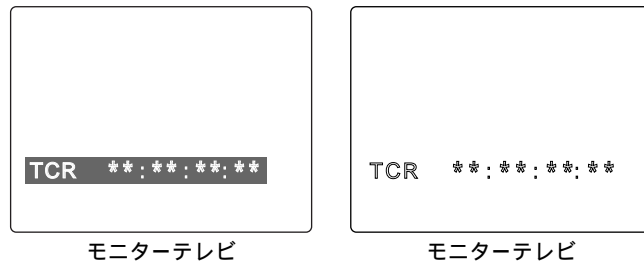


省略文字

CTL (コントロール信号)  
TCR (タイムコードの再生値)  
UBR (ユーザービットの再生値)  
REMAIN (テープ残量)

表示文字

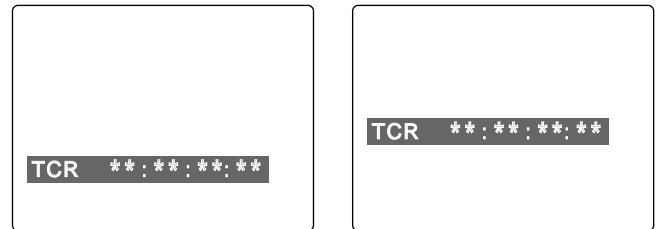
スーパーインポーズの表示文字は、セットアップメニュー No. 006 「CHARA TYPE」の設定で、文字の背景を変えることができます。(33 ページ参照)



表示位置

スーパーインポーズの表示位置は、セットアップメニュー No. 004 「CHARA H-POS」と No. 005 「CHARA V-POS」で変更することができます。

(33 ページ参照)



モニターテレビ

モニターテレビ

< ノート >

PAGE ボタンと DATA + ボタンまたは、DATA - ボタンを押すと、押している間一時的にカウンター表示となり、設定を確認することができます。

PAGE ボタンを押している間も、DATA + ボタン、DATA - ボタンにより、実際の状態を確認しながら設定することもできます。

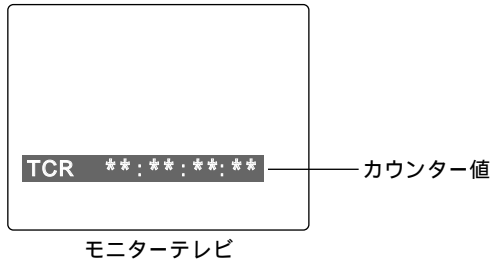
# スーパーインポーズ画面

## 動作モード

セットアップメニュー No. 003「DISPLAY SEL」で表示する内容を選択できます。(33 ページ参照)

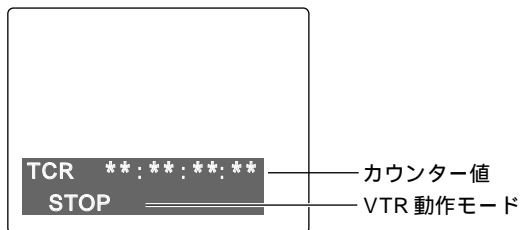
- 「TIME」 : カウンター値
- 「T&STA」 : カウンター値、VTR 動作モード
- 「T&R」 : カウンター値、テープ残量
- 「T&S&R」 : カウンター値、VTR 動作モード、テープ残量

## TIME モード



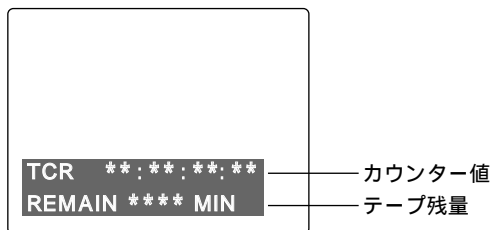
モニターテレビ

## T&STA モード



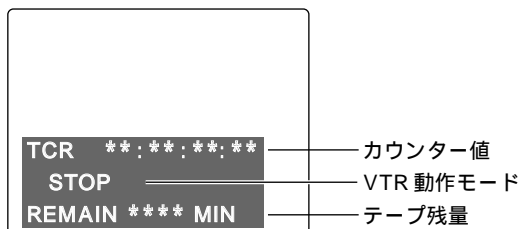
モニターテレビ

## T&R モード



モニターテレビ

## T&S&R モード



モニターテレビ

## < ノート >

- テープの始端、終端を検知したとき、VTR 動作モード時は、行の先頭に [BOT (beginning of tape)] [EOT (end of tape)] を表示します。

表示例 :

EOT STOP  
(テープ終端で STOP 状態)

BOT STANDBY OFF  
(テープ始端でスタンバイ状態)

- T&S&R モードのとき、3 行目 (テープ残量の行) に、下記のエラー表示を行います。

[FAN STOP]

: 冷却ファンが停止したとき。

このとき、フロントパネルのカウンター表示部には、「E-10」とカウンター値が交互に表示されます。

[NO RF]

: テープのブランク部分を検出したとき。

このとき、フロントパネルのカウンター表示部には、「E-09」が表示されます。

[SERVO NOT LOCKED]

: サーボロックしていないとき。

このとき、フロントパネルのカウンター表示部には、「E-00」が表示されます。

[LOW RF]

: ヘッド出力がないとき。

このとき、フロントパネルのカウンター表示部には、「E-01」が表示されます。

[HIGH ERROR RATE]

: エラーレートが悪いとき。(チャンネルコンディションが赤色のとき)

このとき、フロントパネルのカウンター表示部には、「E-02」が表示されます。

# セットアップ (初期設定)

本機的主要な設定は、本機に接続されたビデオモニターに表示される、オンスクリーンメニューで設定・確認することができます。

また、フロントパネルのディスプレイ部に表示される、項目番号と設定番号で設定・確認することもできます。

さらに、ユーザー設定メモリーを1セット用意していますので、あらかじめ好みの設定をメモリーして使用することが可能です。

## オンスクリーンメニューでの設定方法

- 1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。  
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

SET-UP MENU	MAIN
	NO.00
* 00 SYSTEM	
000 BASIC	
100 OPERATION	
200 INTERFACE	
400 TAPE PROTECT	
500 TIME CODE	
600 VIDEO	
700 AUDIO	

メニュー設定モード時は、操作ボタンの“REW, STOP, FF, SEARCH, PLAY, PAUSE/STILL, REC”は、それぞれ“PAGE, MENU-DOWN, MENU-UP, MODE, DATA -, DATA +, SET”として動作します。

- 2 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソル (\*) を変更したいメニューに移動します。
- 3 MODE ボタンを押し、各項目の設定を行います。メニュー画面に戻るときは、PAGE ボタンを押しながら MODE ボタンを押しします。

- 4 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソル (\*) を変更したい項目に移動します。

また、PAGE ボタンを押しながら MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押すと、ページを UP/DOWN することができます。

- 5 DATA + ボタンまたは、DATA - ボタンを押し、設定値を変更します。

- 6 SET ボタンを押し、設定値を確定します。

複数の項目を変更する場合は、4・5・6 の操作を繰り返し行います。

<ノート>

MODE ボタンを押すことにより、設定値をキャンセルすることができます。

設定値を確定せずに他の項目を変更する場合は、MODE ボタンを押し、その後4・5・6の操作を行ってください。

- 7 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。  
メニュー設定が終了します。

## 工場出荷時の設定値への戻し方

- 1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。  
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

- 2 RESET ボタンを押します。  
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

SELECT	MODE
* 0	ESCAPE
1	LOAD
2	SAVE
3	PROTECT

## セットアップ (初期設定)

- 3** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルをLOADの位置して、SET ボタンを押します。  
本機はLOADモードになり、LOAD画面がビデオモニターに表示されます。

SET-UP MENU	<LOAD>
* NO	
	FACTORY (ALL)
	FACTORY (NOT SYSTEM)
	USER (ALL)
	USER (NOT SYSTEM)

- 4** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルをFACTORY (ALL)に移動して、SET ボタンを押します。
- カーソルをFACTORY (NOT SYSTEM)に移動してこの操作を行った場合は、SYSTEMメニュー以外が工場出荷時の設定値に戻ります。
  - カーソルをNOに移動してこの操作を行った場合は、工場出荷時の設定値に戻らずにメニュー画面に戻ります。

- 5** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチをLOCALまたは、REMOTEの位置にします。  
メニュー設定が終了します。

### ユーザーデフォルトの設定方法

- 1** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチをMENUの位置にします。  
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

- 2** 「オンスクリーンメニューでの設定方法」2 ~ 6の操作を行い希望の設定値に変更します。  
(27 ページ参照)

- 3** RESET ボタンを押します。  
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

SELECT	MODE
* 0	ESCAPE
1	LOAD
2	SAVE
3	PROTECT

- 4** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルをSAVEの位置して、SET ボタンを押します。  
本機はSAVEモードになり、SAVE画面がビデオモニターに表示されます。

SET-UP MENU	<SAVE>
* NO	
	USER (ALL)
	USER (NOT SYSTEM)

- 5** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルをUSER (ALL)に移動して、SET ボタンを押します。
- カーソルをUSER (NOT SYSTEM)に移動してこの操作を行った場合は、SYSTEMメニュー以外の設定値が更新されます。
  - カーソルをNOに移動してこの操作を行った場合は、更新されないままメニュー画面に戻ります。

- 6** SAVEを確認する画面が表示されるので、MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルをYESの位置して、SET ボタンを押します。  
設定値がメモリーされます。

SAVE OK?
* NO
YES

- 7** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチをLOCALまたは、REMOTEの位置にします。  
メニュー設定が終了します。

# セットアップ (初期設定)

## ユーザーデフォルトのロード方法

**1** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。  
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

**2** RESET ボタンを押します。  
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

SELECT	MODE
	* 0 ESCAPE
	1 LOAD
	2 SAVE
	3 PROTECT

**3** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを LOAD の位置して、SET ボタンを押します。  
本機は LOAD モードになり、LOAD 画面がビデオモニターに表示されます。

SET-UP MENU	<LOAD>
	* NO
	FACTORY (ALL)
	FACTORY (NOT SYSTEM)
	USER (ALL)
	USER (NOT SYSTEM)

**4** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを USER (ALL) に移動して、SET ボタンを押します。

- カーソルを USER (NOT SYSTEM) に移動してこの操作を行った場合は、SYSTEM メニュー以外がメモリーされているユーザー設定値で動作します。
- カーソルを NO に移動してこの操作を行った場合は、メモリーされているユーザー設定値に変更されないままメニュー画面に戻ります。

**5** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。  
メニュー設定が終了します。

## メニュープロテクトの方法

本機をメニュープロテクトモードにすることにより、フロントパネルの LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にしても、セットアップメニューを開かなくすることができます。

**1** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。  
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

**2** RESET ボタンを押します。  
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

SELECT	MODE
	* 0 ESCAPE
	1 LOAD
	2 SAVE
	3 PROTECT

**3** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを PROTECT の位置して、SET ボタンを押します。  
本機はメニュープロテクト設定モードになり、メニュープロテクトを確認する画面がビデオモニターに表示されます。

MENU PROTECT OK?
* NO
YES

**4** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを YES の位置に移動して、SET ボタンを押します。  
メニュー画面が表示されます。

# セットアップ (初期設定)

**5** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。  
本機がメニュープロテクトモードに設定されます。  
LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にすると、メニュー設定モードにならず、ビデオモニターの画面に「MENU PROTECTED」と表示されます。

< ノート >

メニュープロテクトモード設定中に、フロントパネルの COUNTER ボタンを押しながら、LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にすると、メニュー設定モードになり、通常のメニュー設定ができます。  
「オンスクリーンメニューでの設定方法」の 2 ~ 7 を実施してください。(27 ページ参照)

## メニュープロテクトの解除方法

**1** フロントパネルの COUNTER ボタンを押しながら、LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。  
メニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

**2** 前記「メニュープロテクトの方法」の 2・3 を実施します。  
メニュープロテクトを確認する画面がビデオモニターに表示されます。

MENU PROTECT OK? * NO YES
---------------------------------

**3** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを NO の位置に移動して、SET ボタンを押します。  
メニュープロテクトが解除されます。

## DIAG メニューの表示方法

本機には、「HOUR メーター」「ソフトウェアのバージョン」「デッキのシリアル No.」をビデオモニターに表示させる機能があります。

**1** EJECT ボタンを押しながら、LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。  
本機は DIAG 表示モードになり、ビデオモニターに HOUR メーターが表示されます。

DIAG-MENU	HOURS METER
Ser	*****
H00	OPERATION 00000H
H01	DRUM RUN 00000H
H02	TAPE RUN 00000H
H03	THREADING 00000T
H11	DRUM RUN r 00000H
H12	TAPE RUN r 00000H
H13	THREADING r 00000T

「r」が付いている項目は、サービス時にリセットできる項目です。

**2** HOUR メーターが表示されている状態で、PAGE ボタンを押しながら MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押します。  
デッキのシリアル No. とソフトウェアのバージョンが、ビデオモニターに表示されます。

DIAG-MENU	VERSION
<NTSC>	
FRONT	1.**-.**
IF	1.**-**-*.**
AV-SYSCON	1.**-**-*.**
DV	1.**-**-*.**
CYLINDER	1.**-**-*.**
REEL	1.**-**-*.**

再度 PAGE ボタンを押しながら MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンをすと HOUR メーター表示に戻ります。

**3** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。  
通常のモードに戻ります。

# セットアップメニュー

## SYSTEM メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
00	ENCODER SEL			エンコーダー調整 (アナログビデオ出力信号の各調整) を外部のエンコーダーリモートコントローラーで行うか、本機で行うかを設定します。 0 : 外部のエンコーダーリモートコントローラーで調整を行う。 1 : 本機で調整を行う。
		0000 0001	REMOTE LOCAL	
01	VIDEO LEVEL	0000 : 0128 : 0255	- 128 : 0 : 127	本機でエンコーダー調整を行う場合に、ビデオレベルを設定します。 最大可変量は、± 3 dB です。
02	SET UP	0000 : 0128 : 0255	- 128 : 0 : 127	本機でエンコーダー調整を行う場合に、セットアップ量を設定します。 最大可変量は、10 IRE です。
03	HUE	0000 : 0128 : 0255	- 128 : 0 : 127	本機でエンコーダー調整を行う場合に、HUE を設定します。 最大可変量は、± 25° です。
04	CHROMA LEVEL	0000 : 0128 : 0255	- 128 : 0 : 127	本機でエンコーダー調整を行う場合に、クロマレベルを設定します。 最大可変量は、± 3 dB です。
05	SYSTEM H	0000 : : : 0255	- 128 : : : 127	本機でエンコーダー調整を行う場合に、H PHASE を設定します。 最大可変量は、± 1.5 μ sec です。
06	SC COARSE	0000 0001 0002 0003	0 90 180 270	本機でエンコーダー調整を行う場合に、SC COARSE の粗調整をします。 可変量は、90° 毎の 4 ポジションです。
07	SC FINE	0000 : : : 0255	- 128 : : : 127	本機でエンコーダー調整を行う場合に、SC PHASE の FINE 調整をします。 最大可変量は、± 45° です。 SC COARSE 調整と合わせ、360° をカバーします。
08	SCH COARSE	0000 0001 0002 0003	0 90 180 270	SCH の粗調整をします。 可変量は、90° 毎の 4 ポジションです。

\_\_\_\_\_ は、工場出荷モードです。

< ノート >

\_\_\_\_\_ の設定項目は、工場出荷時の設定値に初期化できません。





# セットアップメニュー

## BASIC メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
000	LOCAL ENA	0000 0001 0002	DIS ST&EJ ENA	REMOTE/LOCAL スイッチが「REMOTE」のときに、フロントパネルで操作可能なスイッチを設定します。 0 : 全ての操作が不可。 1 : STOP スイッチ、EJECT スイッチのみ操作可能。 2 : COUNTER ボタンと RESET ボタン以外の、全ての操作が可能。
001	TAPE TIMER	0000 0001	± 12h 24h	CTL カウンターを、12 時間表示にするか 24 時間表示にするかを設定します。 0 : 12 時間表示 1 : 24 時間表示
002	SUPER	0000 0001	OFF ON	ビデオモニター出力にタイムコード等の、スーパー表示を行うかどうかを設定します。 0 : 表示しない。 1 : 表示する。
003	DISPLAY SEL	0000 0001 0002 0003	TIME T&STA T&R T&S&R	ビデオモニター出力のスーパー表示の内容を設定します。 0 : 時間のみ表示する。 1 : 時間と動作状態を表示する。 2 : 時間とテープ残量を表示する。 3 : 時間・動作状態・テープ残量を表示する。
004	CHARA H-POS	0000 : 0004 : 0008	0 : 4 : 8	スーパー表示の水平方向文字位置を設定します。
005	CHARA V-POS	0000 : 0022	0 : 22	スーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。 : T&S&R モード (3 行表示) のときは、0 ~ 18 まで動きます。 22 T&STA モードと T&R モード (2 行表示) のときは、0 ~ 20 まで動きます。
006	CHARA TYPE	0000 0001	WHITE W/OUT	スーパー表示やメニューの表示タイプを設定します。 0 : 白文字で、背景は黒のベタ塗りで表示する。 1 : 白文字で、黒の縁取りで表示する。
007	SYS FORMAT	0000 0001 0002	422 411 420P	本機の記録・再生フォーマットを設定します。 0 : 4:2:2 (50Mbps) インターレースフォーマット 1 : 4:1:1 (25Mbps) インターレースフォーマット 2 : 4:2:0P プログレッシブフォーマット < ノート > プログレッシブフォーマットの信号をインターレースフォーマットで記録することはできません。また、その逆の記録もできません。
008	PB FORMAT	0000 0001	MANUAL AUTO	テープ再生時のフォーマットを設定します。 0 : メニュー No. 007 (SYS FORMAT) の設定に従う。 1 : テープに記録されているフォーマットに従う。

\_\_\_\_\_ は、工場出荷モードです。

< ノート >

- 項目「CHARA H-POS」、「CHARA V-POS」設定時、PAGE ボタンと DATA + ボタンまたは、DATA - ボタンを押すと、押している間一時的にカウンター表示となり、設定を確認することができます。  
PAGE ボタンを押している間も、DATA + ボタン、DATA - ボタンにより、実際の状態を確認しながら設定することもできます。

# セットアップメニュー

## OPERATION メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
100	SEARCH SPEED	0000 0001	X4.1 X8.4	フロントパネルのサーチスイッチを押したときに、減速する速度を設定します。 0 : 4.1 倍速 1 : 8.4 倍速
101	SHTL MAX	0000 0001 0002	X8.4 X16 X32	9 ピンリモート端子に接続された外部コントローラーを使用するときの、シャトルモードの最高速度を設定します。 0 : 8.4 倍速 1 : 16 倍速 2 : 32 倍速
102	FF. REW MAX	0000 0001 0002	X16 X32 X60	FF・REW の最高速度を設定します。 0 : 16 倍速 1 : 32 倍速 2 : 60 倍速 <ノート> メニュー No. 007 (SYS FORMAT) の設定で、50M または 420P を設定している場合は、60 倍速を選択しても 32 倍速で動作します。
103	AUDIO MUTE	0000 0001	OFF ON	STOP モードやサーチモードから PLAY モードに移行したときの、音声信号が出力されるまでの状態を設定します。 (PCM オーディオのみ機能します。) 0 : 音声が出力されるまでの時間が短くなる。 1 : 音声安定してから出力する。
104	REF ALARM	0000 0001	OFF ON	REF. VIDEO が接続されていないときに、警告表示をするかどうかを設定します。 0 : 警告表示をしない。 1 : 警告表示をする。(警告時、STOP ボタンが点滅する。)
105	STOP MODE	0000 0001	REC PB	STOP 時のデジタル回路のモードを設定します。 0 : デジタル回路が REC 系になります。REC モードに移行する時間が短くなる。 このとき、TAPE/EE スイッチの位置にかかわらず、E-E モードになる。 1 : デジタル回路が PB 系になります。PB モードに移行する時間が短くなる。
106	HUMID OPE	0000 0001	OFF ON	結露時に、結露を無視して動作させるかどうかを設定します。 0 : 結露時は動作をしない。 1 : 結露時にも動作できるが、正常な動作は保証できない。 <ノート> テープダメージ等が発生する可能性がありますので、通常は「0 : 動作をしない」を選択してください。
107	WIDE MODE	0000 0001	WIDE NORMAL	記録時にワイドモードで記録するかどうかを設定します。 0 : ワイドモードで記録する。 1 : 4 対 3 のノーマルモードで記録する。
108	AUTO REW	0000 0001	OFF ON	記録・再生・サーチでテープ終端を検知したときに、テープ始端まで自動的に巻き戻すかどうかを設定します。 0 : テープを巻き戻さない。 1 : テープを始端まで巻き戻す。

\_\_\_\_\_ は、工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## OPERATION メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
109	MEMORY STOP	0000 0001	OFF ON	FF・REW時にCTLカウンターが0になったときに、テープをSTOPするかどうかを設定します。 (CTLモード時のみ機能します。) 0：テープをSTOPしない。 1：テープをSTOPする。
110	AUTO BACK	0000 0001 0002	OFF REC-P ALL	つなぎ撮り機能の操作方法を設定します。 (記録映像を乱れなくつなぐためにテープを数秒巻き戻す「AUTO BACK機能」の動作を設定します。) 0：AUTO BACKしない。 1：REC PAUSE時にAUTO BACKし、記録待機状態で停止する。(PAUSEが解除されるとテープを助走し、記録を開始します。) 2：設定0001「REC-P」の機能に加えて、REC PLAY時にはAUTO BACKし、すぐにテープを助走して、記録を開始する。
111	AFTER CUE-UP	0000 0001	STOP STILL	キューアップ後の状態を設定します。 0：STOPモードで停止する。 1：STILLモードで停止する。
112	CAP LOCK	0000 0001	2F 4F	キャプスタンロックモードを設定します。 0：2Fでロックする。 1：4Fでロックする。
113	BATTERY SEL	0000 0001 0002	NiCd-12 NiCd-13 NiCd-14	バッテリーの種類を設定します。 0：12V系バッテリー 1：13V系バッテリー 2：14V系バッテリー
114	FRZ MODE SEL	0000 0001	DIS STBOFF	TAPE/EEスイッチがTAPEのとき、STANDBY OFF (HALF LOADING) モードでの出力画像を選択します。 0：出力画像をミュートする。 1：STANDBY OFF (HALF LOADING) 時、その時点での再生画をフリーズして出力する。
115	EJECT EE SEL	0000 0001	EE BLACK	EJECT中に、TAPE/EEスイッチがTAPEに設定されているときの映像出力と音声出力を選択します。 0：E-E映像とE-E音声を出力する。 1：映像出力と音声出力をミュートします。

\_\_\_\_\_ は、工場出荷モードです。

## INTERFACE メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
200	ID SEL	0000 0001	OTHER DVCPRO	コントローラーに返信するID情報を設定します。 0：20 25Hを返信する。 1：DVCPRO独自のID (F0 33H) を返信する。

\_\_\_\_\_ は、工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## TAPE PROTECT メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
400	STILL TIMER	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008	0.5S 5S 10S 20S 30S 40S 50S 1min 2min	STOP や STILL の状態で放置されたときの、テープ保護モードになるまでの時間を設定します。 (単位 S : 秒、min : 分)
401	SRC PROTECT	0000 0001	STEP HALF	STILL 状態で放置されたときの、テープ保護モードの動作を設定します。 0 : STEP FWD 1 : STANDBY OFF (HALF LOADING) <ノート> STEP FWD が選択されているときに、STILL の状態で放置された合計時間が 30 分になると、自動的に STANDBY OFF (HALF LOADING) モードへ移行します。
402	DRUM STDBY	0000 0001	OFF ON	STANDBY OFF (HALF LOADING) 時のドラム動作を設定します。 0 : ドラムの回転を停止する。 1 : ドラムの回転を継続する。
403	STOP PROTECT	0000 0001	STEP HALF	STOP 状態で放置されたときの、テープ保護モードの動作を設定します。 0 : STEP FWD 1 : STANDBY OFF (HALF LOADING) <ノート> STEP FWD が選択されているときに、STOP の状態で放置された合計時間が 30 分になると、自動的に STANDBY OFF (HALF LOADING) モードへ移行します。

\_\_\_\_\_ は、工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## TIME CODE メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
500	VITC BLANK	0000 0001	BLANK THRU	VITC 信号をコンポジットビデオ出力に出力するかどうかを設定します。 0 : 出力しない。 1 : 出力する。
501	VITC POS-1	0000 : 0006 : 0010	10L : 16L : 20L	VITC 信号の挿入位置を設定します。 (VITC POS-2 と同じラインは設定できません。)
502	VITC POS-2	0000 : 0008 : 0010	10L : 18L : 20L	VITC 信号の挿入位置を設定します。 (VITC POS-1 と同じラインは設定できません。)
503	TCG REGEN	0000 0001 0002	TC&UB TC UB	TCG (タイムコードジェネレーター) がリジェネモード時の、REGEN (リジェネ) する信号を設定します。 0 : TC、UB 共に REGEN する。 1 : TC のみ REGEN する。 2 : UB のみ REGEN する。
504	TC MODE	0000 0001 0002 0003 0004	P-REC P-FREE I-REG E-VITC E-LTC	TCG のモードを設定します。 0 : 記録と同時に、TC をカウントアップする。 1 : VTR のモードに関係なく、TC をカウントアップする。 2 : テープ上で TC が連続するように、カウントアップする。 3 : ビデオ入力に重畳している VITC に同期する。 4 : TC 入力の LTC に同期する。
505	TC PRESET			メニュー No. 504 (TC MODE) で、TCG のモードが P-REC と P-FREE のとき、タイムコードの値を設定します。 +/- ボタンを押した後、変更したい桁を UP/DOWN ボタンで選択し、再度 +/- ボタンで値を変更します。
506	UB PRESET			メニュー No. 504 (TC MODE) で、TCG のモードが P-REC と P-FREE のとき、ユーザズビットの値を設定します。 +/- ボタンを押した後、変更したい桁を UP/DOWN ボタンで選択し、再度 +/- ボタンで値を変更します。
507	BINARY GP	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007	000 001 010 011 100 101 110 111	TCG で発生するユーザズビットの使用状態を設定します。 0 : NOT SPECIFIED (キャラクタセットを指定しない。) 1 : ISO CHARACTER (ISO646、ISO2022 に準拠した 8bit キャラクタセット) 2 : (未定義) 3 : (未定義) 4 : (未定義) 5 : PAGE/LINE (SMPTE262M の Page/Line 多重システム) 6 : (未定義) 7 : (未定義)
508	PHASE CORR	0000 0001	OFF ON	TCG で発生するリニアタイムコードの位相補正コントロールを行うかどうかを設定します。 0 : 位相補正コントロールを行わない。 (LTC PHASE CORRECTION BIT : 0) 1 : 位相補正コントロールを行う。 (LTC PHASE CORRECTION BIT : 1)

\_\_\_\_\_ は、工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## TIME CODE メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
509	TCG CF FLAG	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	メニュー No. 504 (TC MODE) で、TCGのモードが P-REC と P-FREE のとき、CF BIT (カラーフレームビット) に TCG の CF フラグを付加するかどうかを設定します。 0 : CF フラグを付加しない。(LTC CF BIT : 0) 1 : CF フラグを付加する。(LTC CF BIT : 1)
510	DF MODE	<u>0000</u> 0001	<u>DF</u> NDF	CTL および TCG のドロップフレームモードを設定します。 0 : ドロップフレームモードで使用する。 1 : ノンドロップフレームモードで使用する。

\_\_\_\_\_ は、工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## VIDEO メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
600	OUT VSYNC	0000 0001	N-VF VF	E-E モード記録時、映像出力の位相を入力するために、映像出力の Vertical シンク位置をフロートさせるかどうかを設定します。 0 : フロートさせない。 1 : フロートさせる。
601	V-MUTE SEL	0000 0001	N-MUTE LOW RF	再生中に LOW RF または NO RF になったときの、ビデオ信号のミュート処理を設定します。 0 : ビデオ信号をミュートしない。(フリーズする) 1 : ビデオ信号映像をミュートする。(ブラックにする)
602	CC (F1) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第 1 フィールドのクローズドキャプション信号の ON/OFF を設定します。 0 : 強制的にブランキングする。 1 : ブランキングしない。
603	CC (F2) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第 2 フィールドのクローズドキャプション信号の ON/OFF を設定します。 0 : 強制的にブランキングする。 1 : ブランキングしない。
604	FREEZE SEL	0000 0001 0002	FIELD1 FIELD2 FRAME	静止画面のフリーズモードを設定します。 0 : フィールドフリーズ (第 1 フィールド) 1 : フィールドフリーズ (第 2 フィールド) 2 : フレームフリーズ
605	EDH	0000 0001	OFF ON	シリアルアウトに EDH を重畳するかどうかを設定します。 0 : 重畳しない。 1 : 重畳する。
606	INPUT C KILL	0000 0001	B/W AUTO	ビデオ入力信号のカラーキラー処理を設定します。 0 : 強制的に B/W 処理を行う。 1 : AUTO 処理を行う。
608	SDI OUT SEL	0000 0001	COMPNT 420P	SDI OUT1 端子と SDI OUT2 端子の出力信号フォーマットを設定します。 0 : コンポーネント 4:2:2 (インターレース) 信号を出力する。 1 : コンポーネント 4:2:0P (プログレッシブ) 信号を出力する。 < ノート > コンポーネント 4:2:0P (プログレッシブ) 信号出力に設定しても、セットアップメニュー No. 007 (SYS FORMAT) および No. 008 (PB FORMAT) の設定で、本機が 50 Mbps モードや 25 Mbps モードで動作している場合や、インターレース信号が入力されている場合は、コンポーネント 4:2:2 (インターレース) 信号が出力されます。

\_\_\_\_\_ は、工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## AUDIO メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
700	CH1 IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB 0dB - 20dB - 60dB	オーディオ入力 (CH1・3) の基準レベルを設定します。
701	CH2 IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB 0dB - 20dB - 60dB	オーディオ入力 (CH2・4) の基準レベルを設定します。
702	CH1 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力 (CH1/3) とモニター出力 (CH1/3) の基準レベルを設定します。
703	CH2 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力 (CH2/4) とモニター出力 (CH2/4) の基準レベルを設定します。
704	EMPHASIS	0000 0001	OFF ON	エンファシスの ON/OFF を設定します。
705	H. PHONE SEL	0000 0001	PLY PCM PLY CUE	PLAY 時におけるヘッドホン出力の音声を設定します。 0 : PCM 音声を出力します。 1 : CUE 音声を出力します。 < ノート > PLAY 時以外は、CUE 音声が出力されます。
706	REC CUE	0000 0001 0002	CH1 CH2 CH1 + 2	CUEトラックに記録するオーディオ入力を設定します。 0 : CH1・3 入力を記録する。 1 : CH2・4 入力を記録する。 2 : CH1・3 入力と CH2・4 入力を MIX して記録する。
707	PB FADE	0000 0001 0002	AUTO CUT FADE	PLAY 時のオーディオ出力やモニター出力および、ヘッドホン出力の音声を設定します。 0 : 記録時の状態に従う。 1 : 強制 CUT 処理を行う。 2 : 強制 FADE 処理を行う。
709	H.PHONE MIX	0000 0001	STEREO CH1 + 2	ヘッドホン出力を設定します。 (フロントパネルのオーディオモニター切り替えスイッチが「ST」の位置のときに機能します。) 0 : STEREO 出力する。 1 : MIX 出力する。(モノラルイヤホン使用時)
710	CUE OUT SEL	0000 0001	OFF ON	オーディオ出力 (本線系) やモニター出力に、アナログ CUE 信号を出力するかどうかを設定します。 0 : アナログ CUE 信号を出力しない。 PLAY 時は PCM 音声を出力し、PLAY 時以外は、無音声となる。 1 : アナログ CUE 信号を出力する。 PLAY 時は PCM 音声を出力し、PLAY 時以外は、アナログ CUE 信号を出力する。

\_\_\_\_\_ は、工場出荷モードです。



# セットアップメニュー

## AUDIO メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
711	PB AUDIO SEL	0000 0001	TR1/2 TR3/4	再生するオーディオトラックを設定します。 (4:2:0P モードと 50Mbps モードのときに機能します。) 0 : トラック 1 と 2 に記録されている音声を再生する。 1 : トラック 3 と 4 に記録されている音声を再生する。
712	SDI IN SEL	0000 0001	CH1/2 CH3/4	記録するオーディオ SDI 入力チャンネルを設定します。 0 : SDI 入力の CH1 と CH2 を記録する。 1 : SDI 入力の CH3 と CH4 を記録する。
713	AUD REC IN	0000 0001	CUT FADE	デジタルオーディオ記録開始点での、音声処理方法を設定します。 0 : CUT 処理をする 1 : V フェード処理をする。
714	EMBEDDED AUD	0000 0001	OFF ON	音声の多重化を設定します。 0 : 多重化しない。 1 : 多重化する。
715	AUD IN SEL	0000 0001 0002	SW ANALOG SDI	オーディオ信号の入力を設定します。 0 : INPUT SELECT ボタンの設定に連動します。 1 : アナログ信号入力に固定します。 2 : SDI 信号入力に固定します。

\_\_\_\_\_ は、工場出荷モードです。

# エラーメッセージ

装置に異常が発生した場合には、テープカウンターに下記のエラーメッセージが表示されます。

エラー番号	内 容	エラー番号	内 容
— d —	露付き。	E-31	ローディング動作が 4 秒以内に完了しません。
E-00	サーボが 3 秒以上ロックしないとき表示されます。 セットアップメニュー No. 003 を「T&S&R」に設定しているときは、モニター画面 3 行目 (テープ残量の行) に「SERVO NOT LOCKED」が表示されます。	E-32	アンローディング動作が 4 秒以内に完了しません。
E-01	3 秒以上ヘッド出力がないとき (目づまり等) 表示されます。 このとき、モニター画面の 1 行目 (カウンターの行) に「L」が表示されます。 また、セットアップメニュー No. 003 を「T&S&R」に設定しているときは、3 行目 (テープ残量の行) に「LOW RF」が表示されます。	E-41	シリンダーモーターから FG 信号 (回転速度信号) が出力されていません。
E-02	エラーレートが悪いとき (チャンネルコンディションランプが赤色のとき) 表示されます。 セットアップメニュー No. 003 を「T&S&R」に設定しているときは、モニター画面 3 行目 (テープ残量の行) に「HIGH ERROR RATE」が表示されます。	E-42	シリンダーモーターから PG 信号 (位相信号) が出力されていません。
E-09	テープのブランク部分を検出したとき表示されます。 このとき、モニター画面の 1 行目 (カウンターの行) に「N」が表示されます。 また、セットアップメニュー No. 003 を「T&S&R」に設定しているときは、3 行目 (テープ残量の行) に「NO RF」が表示されます。 下記の条件を全て満たしたとき、ブランク部分として認識します。 ● 全てのヘッド出力が無い。 ● 再生データが読み取れない。 ● CTL が無い。	E-43	シリンダーモーターの回転数が異常に高い。
E-10	ファンモーターが停止しています。 このとき、モニター画面の 1 行目 (カウンターの行) に「S」が表示されます。 また、セットアップメニュー No. 003 を「T&S&R」に設定しているときは、3 行目 (テープ残量の行) に「FAN STOP」が表示されます。 停止した状態で約 5 分経過すると、自動的に POWER OFF になります。	E-44	シリンダーモーターの回転数が異常に低い。
E-11	テープの大きさに合わせて動作するリール台が 2.5 秒以上ロックされています。	E-51	キャプスタンモーターから FG 信号 (回転速度信号) が出力されていません。
E-21	カセット挿入後、4 秒経過してもカセットダウンしません。 もしくは、EJECT 後、4 秒経過してもカセットが出てきません。	E-52	キャプスタンモーターの回転数が異常に高い。
		E-53	キャプスタンモーターの回転数が異常に低い。
		E-61	S リールモーターがロックされています。
		E-62	T リールモーターがロックされています。
		E-63	S リールモーターの回転数が異常に高い。
		E-64	T リールモーターの回転数が異常に高い。
		E-65	テンション異常を検出しました。
		E-66	始末端処理動作が 7 秒以上経過しても終了していません。
		E-67	SERVO AVSYS 間の通信エラーです。データに異常があります。
		E-68	SERVO AVSYS 間の通信エラーです。データが High もしくは Low に固定されています。
		E-69	電源投入時、SERVO AVSYS 間の通信に異常があります。
		E-6A	IF FRONT 間の通信エラーです。
		E-6B	IF AVSYS 間の通信エラーです。内部基準または、外部基準に異常があります。
		E-80	電源電圧に異常があります。
		E-bA	入力 DC 電圧が、アンダーカット電圧 (約 10.6V) 以下になったとき表示されます。

# EMERGENCY イジェクト

緊急時に手動でテープを取り出す手順

EJECT ボタンを押しても、カセットテープを取り出せないときは、下記の方法で取り出すことができます。

- 必ず、本機の電源を OFF にした状態で行ってください。

- ① トップパネルを外します。
- ② 赤いプラスチックのねじ部を、プラスドライバーで押し込みながら、反時計方向に回します。  
(アンローディングを開始するまで、約 30 回転必要です。)
- ③ 巻き取り治具 (同梱品) をテープ引き出し口 (VTR のメカニズム側) より差し込み、S リールのフランジ部 (白いギヤ) を、巻き取り治具のゴム部で巻き取り方向に回転させ、テープのたるみを取ります。

< ノート >

テープを傷つけないように、注意してください。

- ④ 再度、赤いプラスチックのねじ部を、プラスドライバーで押し込みながら、反時計方向に回し、S リールのフランジ部を、巻き取り方向に回転させて、テープのたるみを取ります。

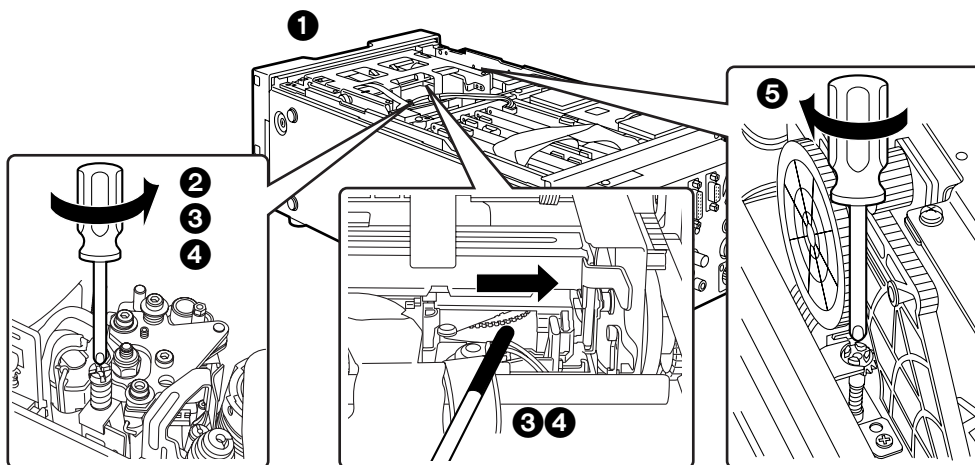
テープが完全にカセットケースに納まるまで、約 90 回転 (赤いプラスチックのねじ部) この操作を繰り返します。

- ⑤ スロットイン側の赤いプラスチックのねじ部を、プラスドライバーで時計方向に回し、カセットテープを取り出します。

(テープがイジェクトするまで、約 140 回転必要です。)

< ノート >

カセットの蓋が閉じるときに、テープが噛み込まないように、注意してください。



## ビデオヘッドクリーニング

---

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能が付いていますが、より信頼性を高めるために適時ビデオヘッドを清掃することをお勧めいたします。  
なお、具体的なクリーニング方法についてはサービス会社または販売会社にご相談ください。

## 結露

---

露付きが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴 (露) がつくのと同一原理です。  
本機やテープを温度・湿度差の大きいところへ移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の高いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから、急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに 10 分程度放置したままでお待ちください。もし、本機に結露が発生したときは、カウンター表示部にエラーメッセージ (— d —) が点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま電源を入れた状態で、エラーメッセージが消えるまでお待ちください。

## お手入れについて

---

お手入れ前には、電源スイッチを OFF にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は柔らかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所洗剤をうすめ、布に浸して固く絞って拭きます。汚れをふき取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。シンナー、ベンジンはご使用にならないでください。

# アフターサービス

## アフターサービスについて

### 1. 保証書...内容のご確認と保存のお願い

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入を確かめて、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 2. 保証期間...お買い上げ日から1年間

取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき、販売店で「無料修理」させていただきます。保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
- (ニ) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
- (ホ) 他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
- (ハ) 別に指定する\* 磨耗性の部品、あるいは付属品の故障および損傷

### 3. 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

### 4. 修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな？と思う前に」の項を点検していただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申しつけください。

### 5. ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

\* 磨耗性の部品とは、下記部品類です。

- |           |          |
|-----------|----------|
| ● ビデオヘッド  | ● 各種ベルト  |
| ● ピンチローラー | ● ゴムプリー類 |
| ● 各種プレーキ  | ● ローラー類  |
| ● モーター類   | ● ヘッド類   |

## 定期保守のおすすめ

ビデオは

- 複雑なメカニズムで構成されており、ベルト、ローラー、ヘッドなどが数多く使用されています。
- これら部品は、使用時間が経過するにつれて磨耗劣化し、故障の原因となります。
- また、ホコリ、ゴミなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に将来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス（メンテナンス）を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。定期保守サービス（有料扱い）については、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 定 格

## 【総合】

電源電圧	AC100V ± 10%、50 Hz/60 Hz
消費電力	90W

は安全項目です。

DC 電源電圧  
12V

DC 電源入力電流  
6.1A

動作周囲温度  
5 ~ 40

動作周囲湿度  
10% ~ 85% (結露無し)

重量  
8.1 kg

外形寸法  
214 (幅) × 132 (高さ) × 430 (奥行) mm

記録フォーマット  
DVCPRO Pフォーマット/DVCPRO50 フォーマット/DVCPROフォーマット切り替え

記録ビデオ信号  
525P (4:2:0P)/525i

記録オーディオ信号

- DVCPRO P/DVCPRO 50  
: 48 kHz、16 bit、4 ch
- DVCPRO  
: 48 kHz、16 bit、2 ch

記録トラック

- デジタル ビデオ/オーディオ  
: ヘリカルトラック
- タイムコード  
: ヘリカルトラック (サブコード領域)
- キュー信号  
: 1トラック
- コントロール (CTL)  
: 1トラック

テープスピード

- DVCPRO P/DVCPRO 50  
: 67.640 mm/秒
- DVCPRO  
: 33.820 mm/秒

## 【総合】

記録時間

DVCPRO P/DVCPRO50 モード

- 92分 (AJ-5P92LP 使用時)
- 33分 (AJ-5P33MP 使用時)

DVCPRO モード

- 184分 (AJ-P184LP 使用時\*)
- 66分 (AJ-P66MP 使用時)

\*AJ-P184LPにて、DVCPRO (25Mモード) で記録されたテープは、DVCPRO (25M) 長時間テープ対応VTRにてご使用ください。

使用テープ

1/4 薄磁性層メタルテープ

FF/REW 時間

5分以内 (AJ-5P92LP 使用時)

# 定 格

---

---

## 【ビデオ】

### ■ デジタルビデオ

サンプリング周波数

(DVCPRO P)

Y : 27 MHz、P<sub>B</sub>/P<sub>R</sub> : 13.5 MHz

(DVCPRO 50)

Y : 13.5 MHz、P<sub>B</sub>/P<sub>R</sub> : 6.75 MHz

(DVCPRO)

Y : 13.5 MHz、P<sub>B</sub>/P<sub>R</sub> : 3.375 MHz

量子化

8 bits

ビデオ圧縮方式

DCT + 可変長符号

エラー訂正

リードソロン積符号

### ■ アナログコンポジット IN/OUT

DVCPRO50/DVCPROモード (525iモード)

映像帯域

Y : 30 Hz ~ 4.5 MHz (± 1 dB)

DG

6%以下

DP

4.5°以下

Y/Cディレイ

20 nsec以下

Kファクター

2%以下

### ■ 調整 (ビデオ出力信号)

ビデオゲイン

± 3 dB以上

クロマゲイン

± 3 dB以上

ヒュー

± 25°以上

セットアップ

± 10 IRE

H位相

± 1.5 μ sec以上

SC位相 (COARSE)

360°

SC位相 (FINE)

90°

## 【オーディオ】

### ■ デジタルオーディオ

サンプリング周波数

48 kHz

量子化

16 bits

周波数特性

20 Hz ~ 20 kHz ± 1 dB

ダイナミックレンジ

85 dB以上

(1 kHz、エンファシス OFF、“A” weighted)

歪率

0.1%以下

(1 kHz、エンファシス OFF、基準レベル)

クロストーク

- 80 dB以下 (1 kHz、2チャンネル間)

ワウ&フラッター

測定可能値以下

ヘッドルーム

20 dB

エンファシス

T1 = 50 μ sec/T2 = 15 μ sec

(ON/OFF可)

# 定 格

## 【入出力端子】

### ■ ビデオ入力端子

アナログコンポジット入力

BNC × 1、75

リファレンス入力

アナログコンポジット、BNC × 2 (ループスルー)、75 ON/OFF 切り替え

シリアルデジタルコンポーネント入力

BNC × 1

(SMPTE259M-C、294M 規格に準拠)

### ■ ビデオ出力端子

アナログコンポジット出力

BNC × 2、75

モニター出力

BNC × 1、75 、スーパーインポーズ ON/OFF

シリアルデジタルコンポーネント出力

BNC × 2

(SMPTE259M-C、294M 規格に準拠)

### ■ オーディオ入力端子

アナログ入力

XLR × 2 (CH1・3、CH2・4)、600 /High 切り替え、+ 4/0/ - 20/ - 60 dBu

シリアルデジタル入力

BNC × 1

(SMPTE259M-C、272M 規格に準拠)

### ■ オーディオ出力端子

アナログ出力

XLR × 2 (CH1/3、CH2/4)、ローインピーダンス、+ 4/0/ - 20 dBu

シリアルデジタル出力

BNC × 2、

(SMPTE259M-C、272M 規格に準拠)

モニター出力

XLR × 2 (CH1/3、CH2/4)、ローインピーダンス、+ 4/0/ - 20 dBu (アナログ出力に連動)

ヘッドホン出力

M3 ステレオ × 1、レベル可変 (最大 - 20 dBu)、8 、CH1/MIX/STEREO/CH2 切り替え可能

## 【入出力端子】

### ■ その他入出力端子

TC 入力

BNC × 1、0.5 ~ 8 V[P-P]、8 k

TC 出力

BNC × 1、2.0 V[P-P]、ローインピーダンスリモート

D-sub、9 pin × 1、AJ-A95 用

RS-422A インターフェース準拠 (編集機能無し)

エンコーダーリモート

D-sub、15 pin × 1、AU-Z2001 用

DC 電源出力

4 pin × 1、DC 12V、250 mA、AJ-A95 用

## 【表示管】

カウンター

8 桁 (CTL/TC/UB/テープ残量切り替え)

オーディオレベルメーター

17 段階 + OVER LEV 表示

その他

サーボロック、テープ走行状態、記録/記録禁止、SCH、REMOTE、WIDE、チャンネルコンディション

## 【オプション】

- 9 ピンリモートコントローラー

AJ-A95

- エンコーダーリモートコントローラー

AU-Z2001

- 9 ピンリモートケーブル

AU-C5 (5 m)、AU-C10 (10 m)





---

松下電器産業株式会社 放送システム事業部

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901 - 1161